

平成31(令和元)年度  
沖縄県M I C E開催実態調査事業  
報告書  
(概要版)

令和2年3月  
沖縄県



## 目次

1. 開催実態調査 .....	1
1. 1 調査目的 .....	1
1. 2 本年度調査について .....	1
1. 2. 1 調査手法 .....	1
1. 3 過去5年の調査対象件数と回答件数 .....	1
1. 4 平成31（令和元）年調査対象区分と回答内容 .....	2
1. 5 調査結果 .....	2
1. 5. 1 調査結果概要 .....	2
(1) 月別開催件数 .....	7
(2) 月別参加者数 .....	7
(3) 月別1件当たり参加者数 .....	9
(4) 規模別開催件数 .....	12
(5) 参加者数1,000人以上の催事開催件数 .....	14
(6) 参加者の地域分布 .....	15
(7) 海外からの参加があった催事 .....	17
(8) 海外参加者10人以上/50人以上の催事 .....	18
(9) 市町村別開催件数 .....	21
(10) エリア別開催件数 .....	25
(11) 施設の種別開催件数 .....	27
(12) 産業別開催件数 .....	29
1. 6. 経済波及効果の結果 .....	31
1. 6. 1. 経済効果（直接効果） .....	31
1. 6. 2. 経済波及効果（間接効果） .....	33
1. 7. MICEの取組みに関するアンケート結果 .....	34
1. 7. 1. アンケートの内容 .....	34
1. 7. 2. アンケート結果 .....	34
1. 8. 1. ヒアリング調査の内容 .....	38
1. 8. 2. ヒアリング結果 .....	39
(1) インセンティブ、ミーティング案件 .....	39
(2) 大型インセンティブ案件 .....	40
(3) 学術会議 .....	41
2. 参考資料 .....	42
2. 1. 開催実態調査 調査票 .....	42
2. 2. ガイドライン .....	45



## 1. 開催実態調査

### 1. 1 調査目的

本調査業務は「沖縄 MICE 振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後の改善に向けた基礎資料とするため、本県の MICE 開催実態を把握することを目的としている。

### 1. 2 本年度調査について

#### 1. 2. 1 調査手法

調査は所定の調査票（参考資料 2. 1. 1）を郵便または電子メールにて調査対象となる施設等に送付する方法により実施した。調査対象は以下のとおり。

- ・ 平成 30 年度 MICE 開催実態調査で対象とした施設
- ・ 平成 30 年度 MICE 開催実態調査において調査対象となっていなかった民間事業者が運営している会議施設
- ・ 平成 31(令和元)年に新規開業した宿泊施設（客室数 50 室以上）
- ・ 「沖縄 MICE プランナーズガイド」「ユニークベニューガイドブック」「体験プログラムガイドブック」に掲載されている企業・団体
- ・ MICE の主催が見込まれる官公庁等

なお、データ集計に際しては、アンケート結果をそのまま集計するのではなく、以下の内容について精査した上で集計を行った。

- ・ 各事業所から回答があった開催実態の中で、催事名及び開催期間が重複した場合、同一催事とみなし統合
- ・ 「沖縄県 MICE 開催実態調査ガイドライン」（県外・海外から 10 名以上の参加者があること）に該当する実績を集計（ガイドラインで MICE とみなされない催事を除外）

### 1. 3 過去 5 年の調査対象件数と回答件数

図表 1. 調査対象件数及び回答件数【平成 26 年～平成 31(令和元)年】（単位:件）

	平成 26・27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31(令和元)年
調査対象件数	350	348	475	452	520
回答件数	202	303	360	319	386
うち受入有	71	94	99	117	118
受入無	103	209	253	199	268
不明	28	0	8	3	0
回答率	58%	87%	76%	71%	74%

## 1. 4 平成 31（令和元）年調査対象区分と回答内容

図表2. 調査対象区分別・回収件数

（単位：件）

団体・施設・期間	送付 件数	回答(MICE 受入の確認)			未回答	回答率
		受入有	受入無	合計		
会議施設	86	31	41	72	14	84%
ホテル	179	31	74	105	74	59%
リゾートホテル	108	25	38	63	45	58%
シティーホテル	29	5	10	15	14	52%
宿泊特化型ホテル	42	1	26	27	15	64%
ユニークベニュー	23	11	6	17	6	74%
旅行社	31	7	13	20	11	65%
体験プログラム	64	13	37	50	14	78%
視察・見学	32	7	18	25	7	78%
官公庁	57	9	45	54	3	95%
県外郭団体	36	7	29	36	0	100%
PCO	12	2	5	7	5	58%
合計	520	118	268	386	134	74%

## 1. 5 調査結果

### 1. 5. 1 調査結果概要

沖縄県における MICE 開催件数は年々増加傾向にあり、平成 31(令和元)年は 1,638 件(+400 件、前年比 132%)となった。

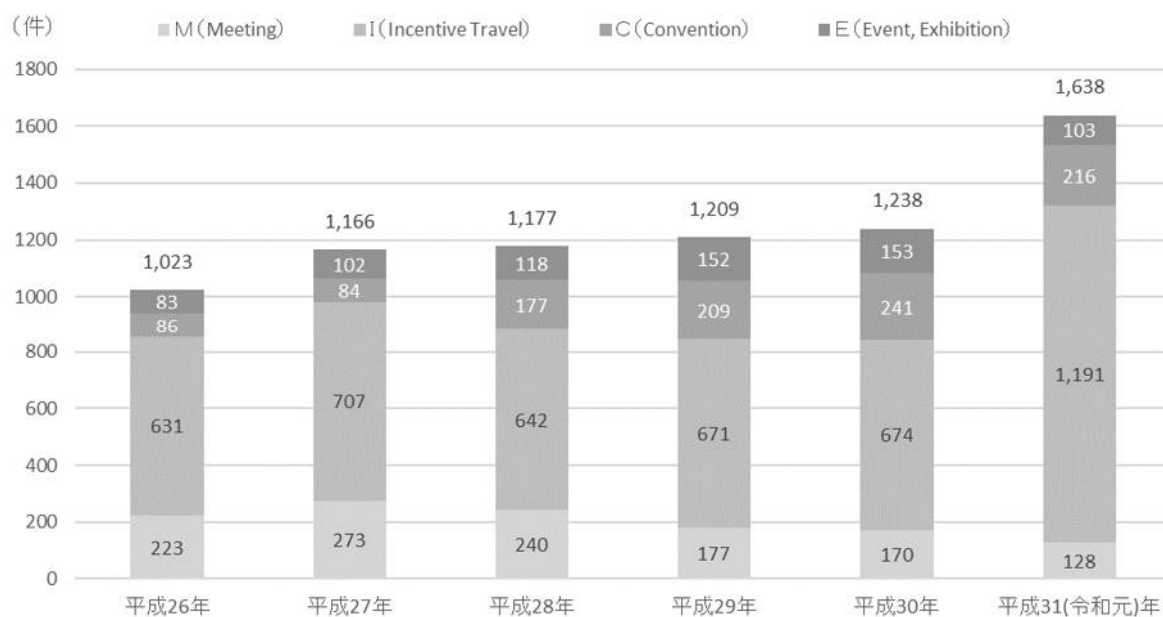
全体の催事別(M/I/C/E)の構成は、過去の傾向と同様「Incentive Travel」の割合が大きく、1,191 件で構成比 73%となっている。続いて「Convention」が 216 件(同 13%)、「Meeting」が 128 件(同 8%)、「Event, Exhibition」が 103 件(同 6%)、となっている。平成 31(令和元)年は「Incentive Travel」の増加率が大きく、前年比 177%となった。

図表3. 年別開催件数【平成 26 年～平成 31(令和元)年】

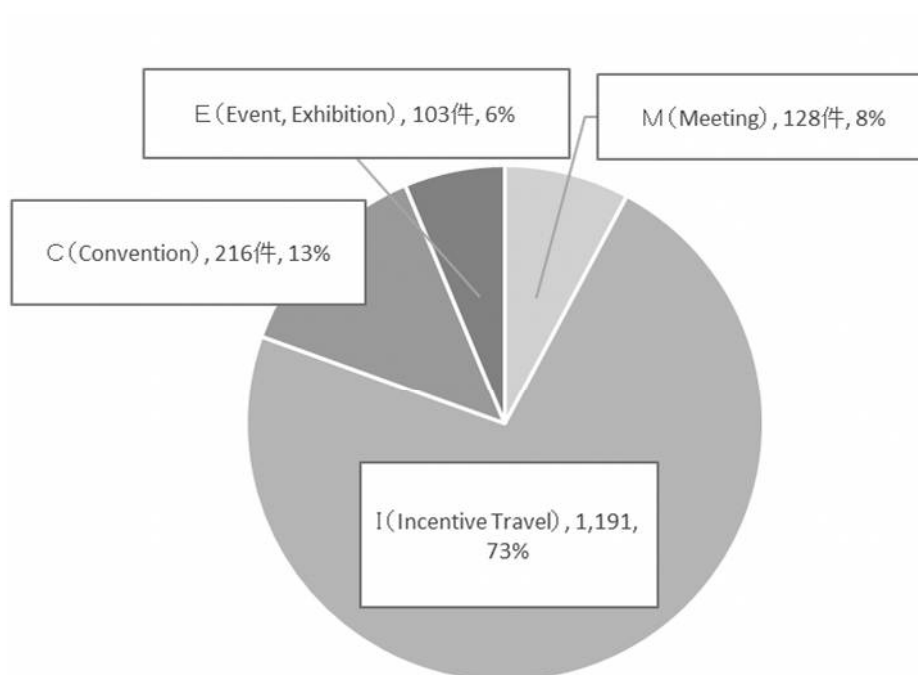
（単位：件）

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31(令和元)年			
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	増減数	前年比	
M(Meeting)	223	273	240	177	170	128	(8%)	▲42	75%
I(Incentive Travel)	631	707	642	671	674	1,191	(73%)	517	177%
C (Convention)	86	84	177	209	241	216	(13%)	▲25	90%
E(Event, Exhibition)	83	102	118	152	153	103	(6%)	▲50	67%
合計	1,023	1,166	1,177	1,209	1,238	1,638	100%	400	132%

図表4. 開催件数の推移【平成26年～平成31(令和元)年】



図表5. 平成31(令和元)年 催事別開催件数の割合



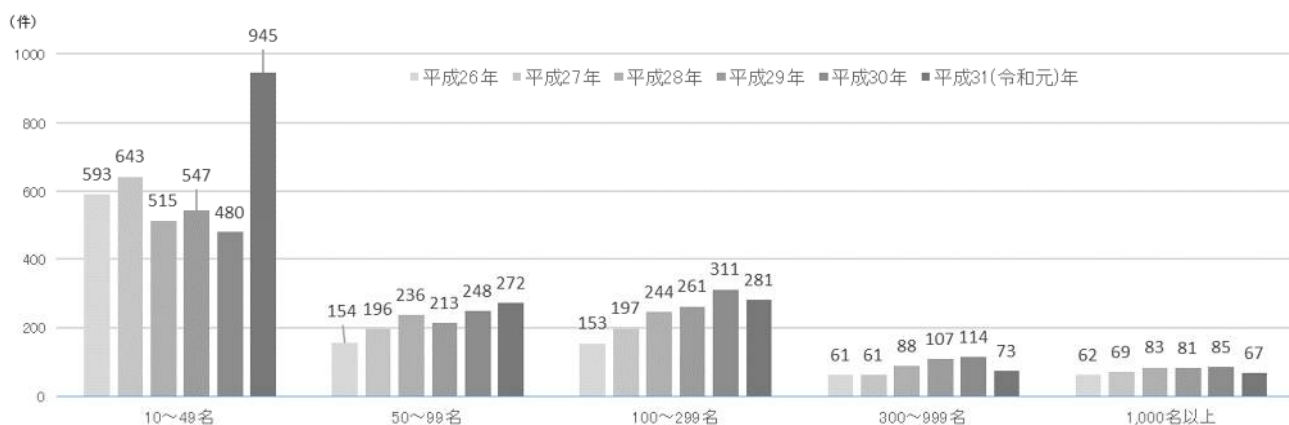
## ■規模別開催件数

規模別にみると、「10～49人」の催事が前年比197%と大幅に増加しており、また「50～99人」の催事も前年比110%と増加している。「100人～299人」、「300～999人」、「1,000人以上」の催事はそれぞれ減少している。

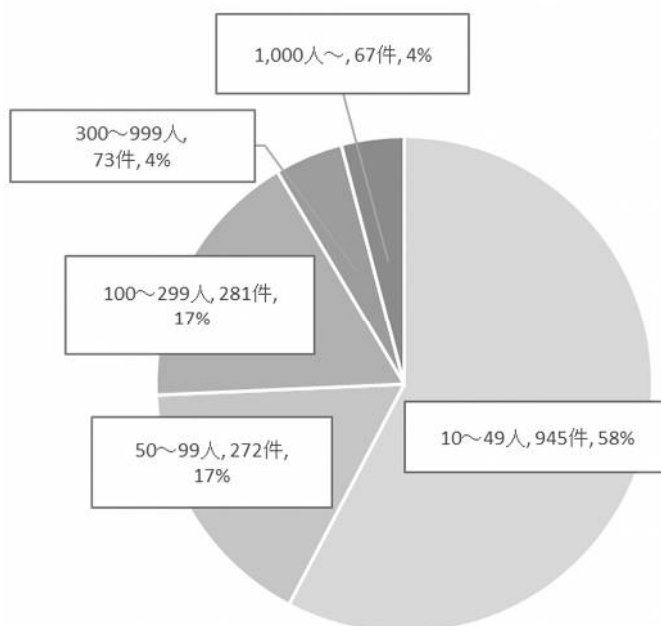
図表6. 規模別開催件数の推移

開催規模	平成26年 件数	平成27年 件数	平成28年 件数	平成29年 件数	平成30年 件数	平成31(令和元)年		
						件数	増減数	前年比
10～49人	593	643	515	547	480	945	465	197%
50～99人	154	196	236	213	248	272	24	110%
100～299人	153	197	244	261	311	281	▲30	90%
300～999人	61	61	88	107	114	73	▲41	64%
1,000人以上	62	69	83	81	85	67	▲18	79%
合計	1,023	1,166	1,177	1,209	1,238	1,638	400	132%

図表7. 規模別開催件数の推移



図表8. 規模別開催件数の割合





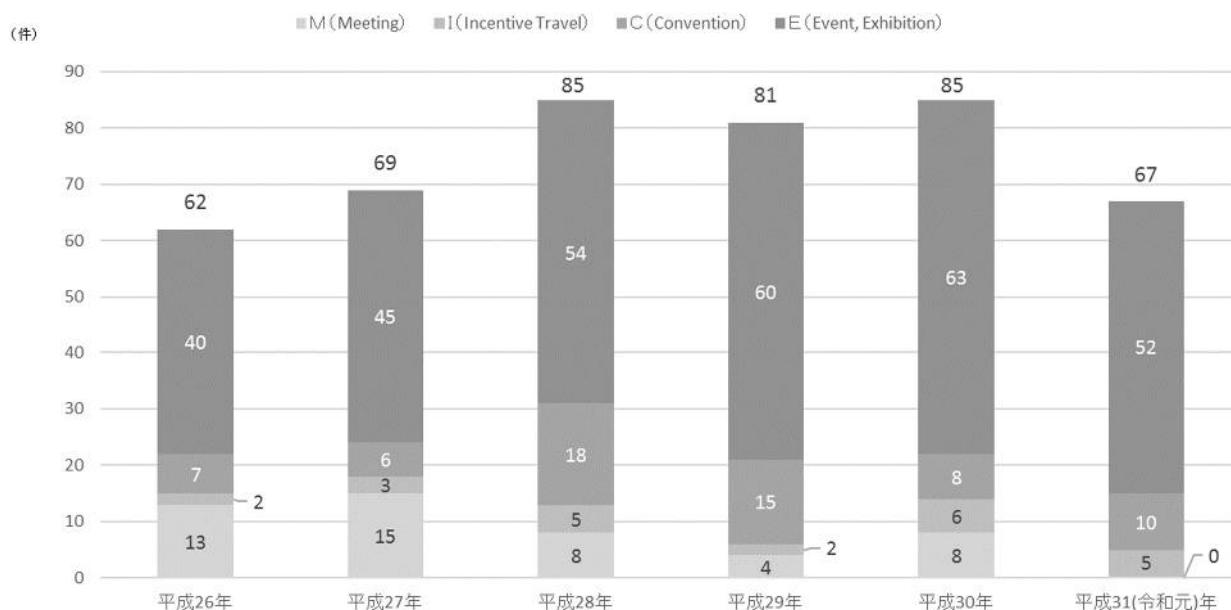
■参加者数 1,000 人以上の催事開催件数

参加者 1,000 人以上の大規模催事は、前年から 18 件減少して 67 件となっている。過去の傾向と同様に「Event, Exhibition」が 52 件と最も多く、全体の 78%を占めている。続いて、「Convention」が 10 件(構成比 15%)、「Incentive Travel」は 5 件(同 7%)となっている。

図表9. 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		平成 31 (令和元)年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
M(Meeting)	13	21%	15	22%	8	9%	4	5%	8	9.5%	0	0%
I(Incentive Travel)	2	3%	3	4%	5	6%	2	2%	6	7%	5	7%
C(Convention)	7	11%	6	9%	18	21%	15	19%	8	9.5%	10	15%
E(Event, Exhibition)	40	65%	45	65%	54	64%	60	74%	63	74%	52	78%
合 計	62		69		85		81		85		67	

図表 10. 参加者 1,000 人以上の催事開催件数の推移【平成 26 年～平成 31(令和元)年】



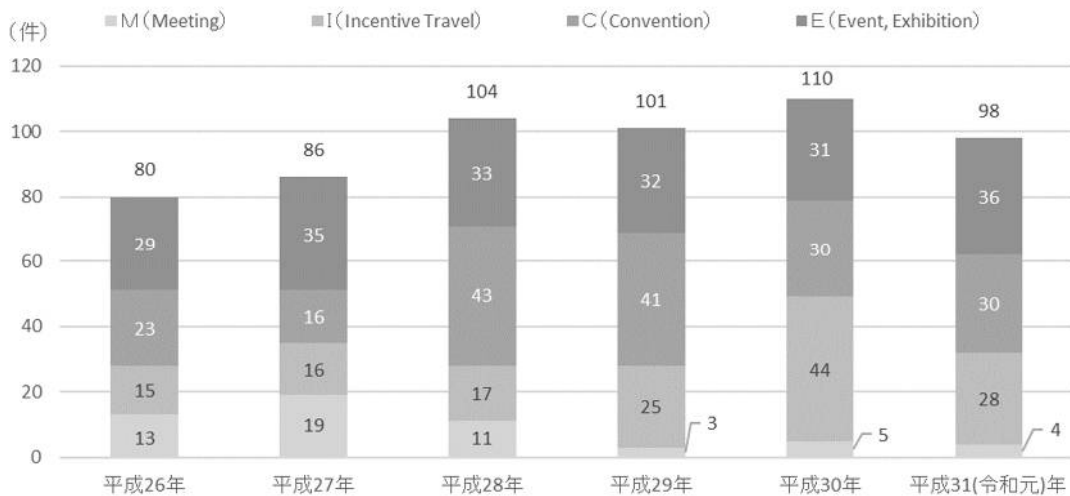
■海外及び県外参加者 300 人以上の催事開催件数

海外及び県外参加者が合計 300 人以上の催事は、平成 30 年に比べて 12 件の減少となった。催事別に増減率を見ると、「Event, Exhibition」が 36 件 (+5 件、前年比 116%) と増加した一方で、「Incentive Travel」が 28 件(-16 件、前年比 64%)と大きく減少した。「Meeting」、「Convention」は横ばいとなっている。

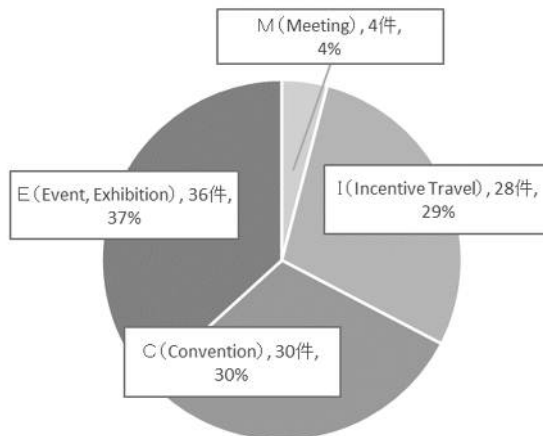
図表 11. 海外＋県外参加者 300 人以上催事件数【平成 26 年～平成 31(令和元)年】

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		平成 31 (令和元)年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
M(Meeting)	13	16%	19	22%	11	11%	3	3%	5	5%	4	4%
I(Incentive Travel)	15	19%	16	19%	17	16%	25	25%	44	40%	28	29%
C(Convention)	23	29%	16	19%	43	41%	41	40%	30	27%	30	30%
E(Event, Exhibition)	29	36%	35	41%	33	32%	32	32%	31	28%	36	37%
合計	80		86		104		101		110		98	

図表 12. 海外＋県外参加者 300 人以上催事件数の推移【平成 26 年～平成 31(令和元)年】



図表 13. 平成 31(令和元)年 海外＋県外参加者 300 人以上催事件数の割合



## 1. 5. 2 調査結果詳細

### (1) 月別開催件数

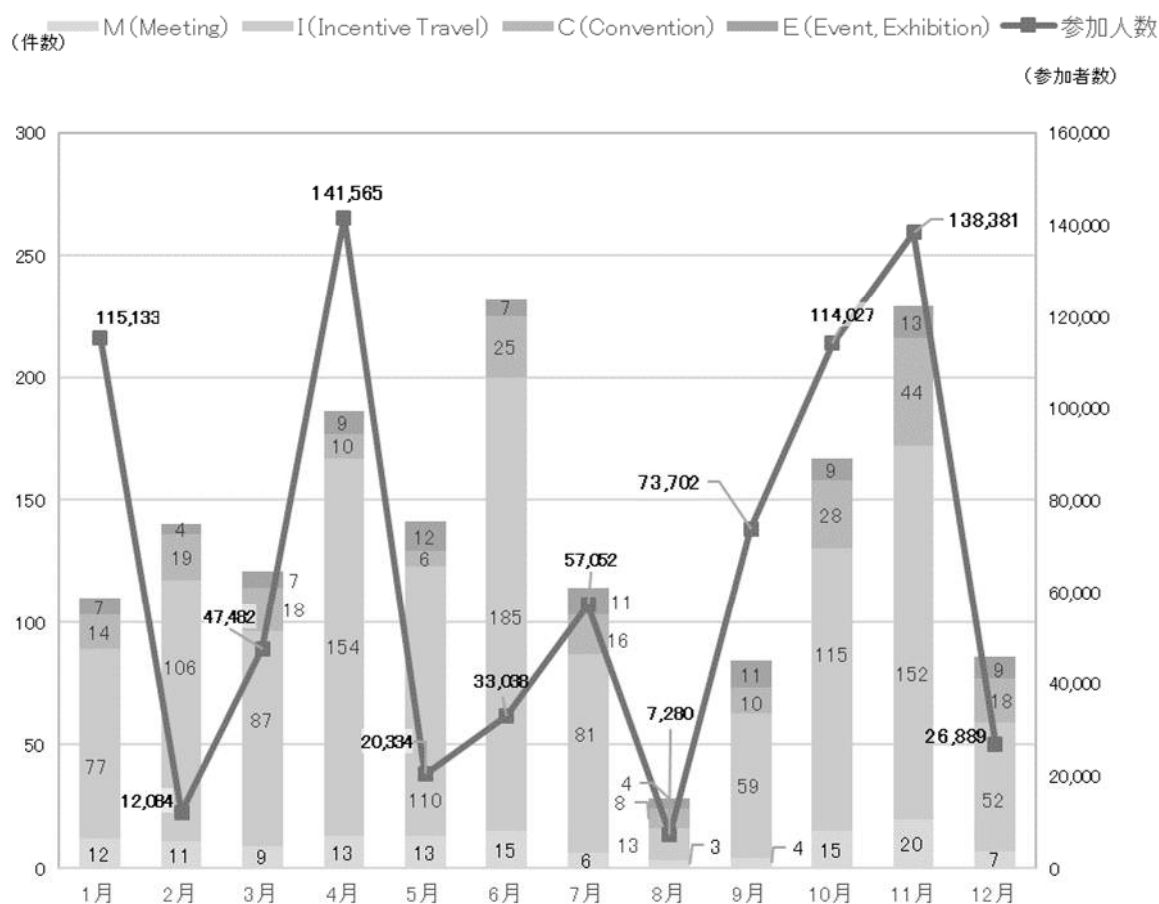
平成 31 (令和元) 年の月別開催件数を見ると、6 月が 232 件、11 月が 229 件となっており、ほぼ同数で最も多くなっている。次いで 4 月(187 件)、10 月(167 件)、5 月(141 件)、2 月(139 件)と続く。一方、昨年と同様に、入域観光客数が最も多い 8 月は 28 件と最も MICE の開催件数が少なく、一般観光の繁忙期と MICE の繁忙期が異なることがわかる。

図表 14. 平成 31(令和元)年 月別開催件数

(単位:件)

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
M (Meeting)	件数	128	12	11	9	13	13	15	6	3	4	15	20	7
	(%)	8%	9%	9%	7%	10%	10%	12%	5%	2%	3%	12%	16%	5%
I(Incentive Travel)	件数	1,191	77	106	87	154	110	185	81	13	59	115	152	52
	(%)	73%	6%	9%	7%	13%	9%	16%	7%	1%	5%	10%	13%	4%
C (Convention)	件数	216	14	19	18	10	6	25	16	8	10	28	44	18
	(%)	13%	6%	9%	8%	5%	3%	12%	7%	4%	5%	13%	20%	8%
E (Event, Exhibition)	件数	103	7	4	7	9	12	7	11	4	11	9	13	9
	(%)	6%	7%	4%	7%	9%	12%	7%	11%	4%	11%	9%	13%	9%
合計	件数	1,638	110	140	121	186	141	232	114	28	84	167	229	86
	(%)	100%	7%	9%	7%	11%	9%	14%	7%	2%	5%	10%	14%	5%
参加人数		786,967	115,133	12,084	47,482	141,565	20,334	33,038	57,052	7,280	73,702	114,027	138,381	26,889

図表 15. 平成 31(令和元)年 開催件数の月別推移



## (2) 月別参加者数

平成 31 (令和元) 年の年間参加者数は 786,967 人 (前年比 115%、+106,484 人) となっている。

分野別にみると、昨年と同様 Event, Exhibition が最も多く 649,722 人 (構成比 82%) となっており、以下 Incentive Travel が 77,250 人 (構成比 10%)、Convention が 50,072 人 (構成比 7%)、Meeting が 9,923 人 (構成比 1%) の順となっている。

月別の参加者数は、昨年と同様に 1 月、4 月、10 月、11 月が突出している。

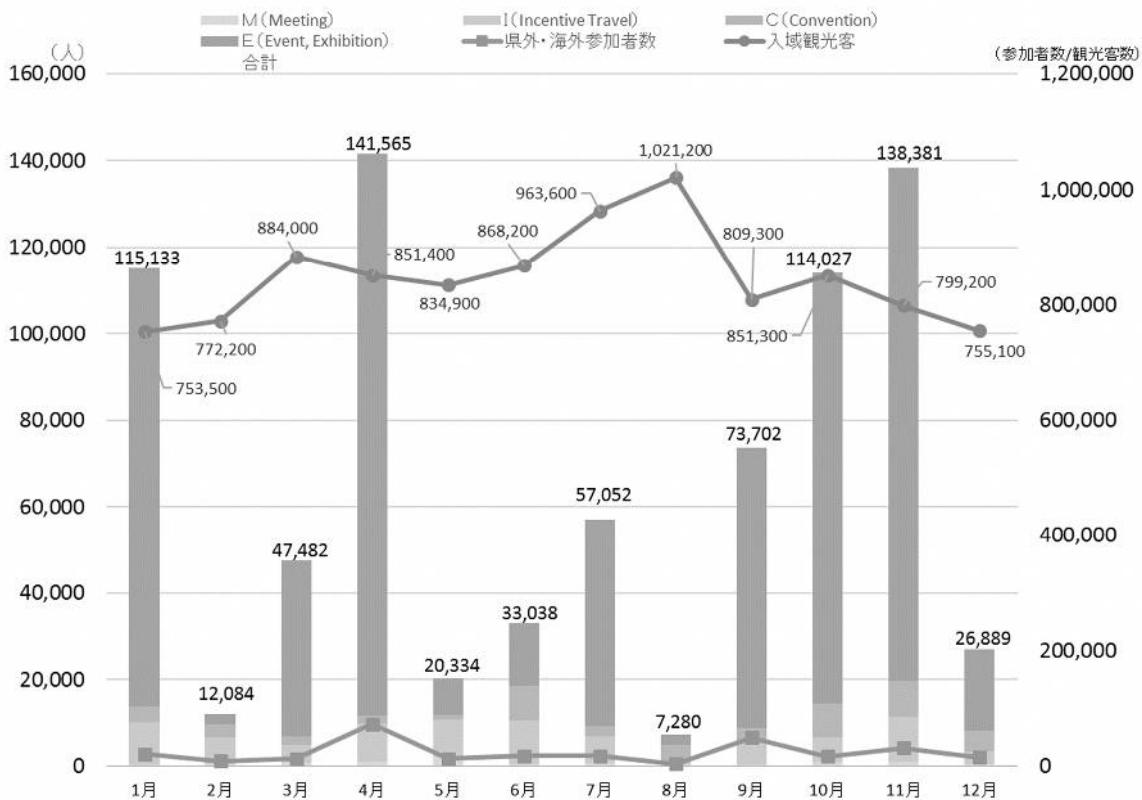
図表 16. 平成 31(令和元)年 月別参加者数

(単位: MICE 参加者数: 人/入域観光客: 千人)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	人数	9,923	386	551	857	1,075	2,109	638	803	279	426	1,059	1,058	682
	(%)	1%	4%	6%	9%	11%	21%	6%	8%	3%	4%	11%	11%	7%
I	人数	77,250	9,725	6,087	3,972	8,733	8,608	9,941	6,123	670	4,832	5,504	10,252	2,803
	(%)	10%	13%	8%	5%	11%	11%	13%	8%	1%	6%	7%	13%	4%
C	人数	50,072	3,662	3,072	1,975	1,819	1,014	7,939	2,279	4,032	3,526	7,811	8,332	4,611
	(%)	6%	7%	6%	4%	4%	2%	16%	5%	8%	7%	16%	17%	9%
E	人数	649,722	101,360	2,374	40,678	129,938	8,603	14,520	47,847	2,299	64,918	99,653	118,739	18,793
	(%)	83%	16%	0%	6%	20%	1%	2%	7%	0%	10%	15%	18%	3%
合計	人数	786,967	115,133	12,084	47,482	141,565	20,334	33,038	57,052	7,280	73,702	114,027	138,381	26,889
	(%)	100%	15%	2%	6%	18%	3%	4%	7%	1%	9%	14%	18%	3%
県外・海外参加者数		279,933	21,31	8,876	13,070	73,044	12,445	17,917	17,351	3,564	48,949	17,184	31,260	14,963
入域観光客 (単位: 千人)		10,163	753	772	884	851	834	868	963	1,021	809	851	799	755

※入域観光客数出典: 「平成 31 (令和元) 年入域観光客統計概況」(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)

図表 17. 平成 31(令和元)年 月別参加者数の推移



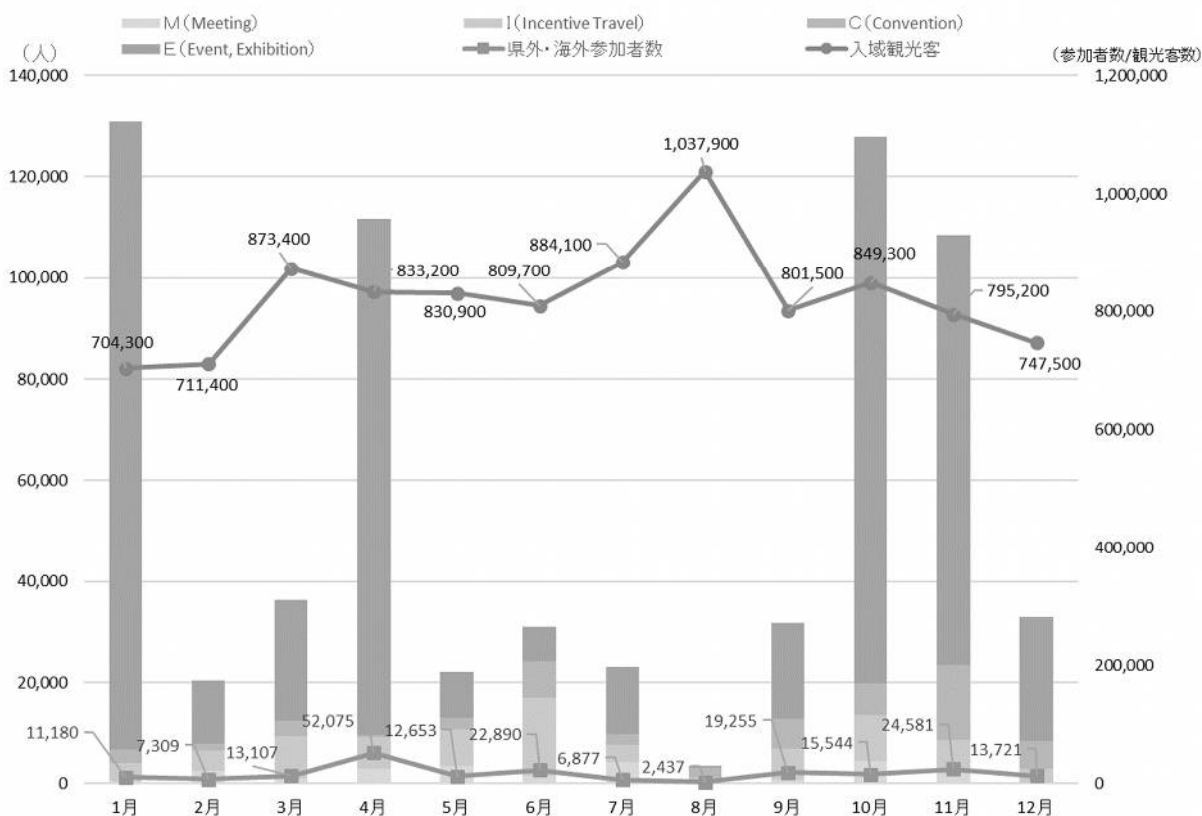
<参考>平成30年の月別参加者数

図表 18. 平成30年 月別参加者数

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M 人数	24,078	476	2,578	1,057	2,858	3,437	1,651	4,242	80	909	4,522	1,981	287
(%)	100%	2%	11%	4%	12%	14%	7%	18%	0%	4%	19%	8%	1%
I 人数	74,061	3,660	4,020	8,329	6,421	7,208	15,322	3,473	1,140	5,966	9,087	6,708	2,727
(%)	100%	5%	5%	11%	9%	10%	21%	5%	1%	8%	12%	9%	4%
C 人数	52,963	2,586	1,286	3,002	268	2,436	7,198	2,134	1,879	5,848	6,205	14,713	5,408
(%)	100%	5%	2%	6%	1%	5%	13%	4%	3%	11%	12%	28%	10%
E 人数	529,381	124,155	12,603	23,995	102,091	9,055	6,794	13,296	440	19,126	108,114	85,188	24,524
(%)	100%	23%	2%	5%	19%	2%	1%	3%	0%	4%	20%	16%	5%
合 人数	680,483	130,877	20,487	36,383	111,638	22,136	30,965	23,145	3,539	31,849	127,928	108,590	32,946
計 (%)	100%	19%	3%	5%	16%	3%	5%	3%	1%	5%	19%	16%	5%
県外・海外参加者数	201,629	11,180	7,309	13,107	52,075	12,653	22,890	6,877	2,437	19,255	15,544	24,581	13,721
入域観光客	9,842	704	711	837	833	830	809	884	1,037	801	849	795	747

※入域観光客数出典:「平成30年入域観光客統計概況」(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)

図表 19. 平成30年 月別参加者数の推移



### (3) 月別1件当たり参加者数

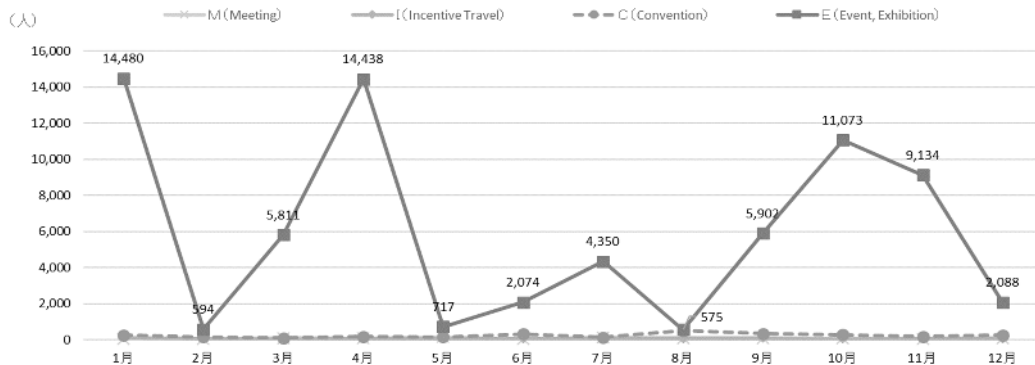
平成31(令和元)年の1件当たりの参加者数は480人(前年比83%、-70人)となっている。

月別では、1月、4月が14,400人を超え最も多く、その中でEvent, Exhibitionが占める割合が高い。

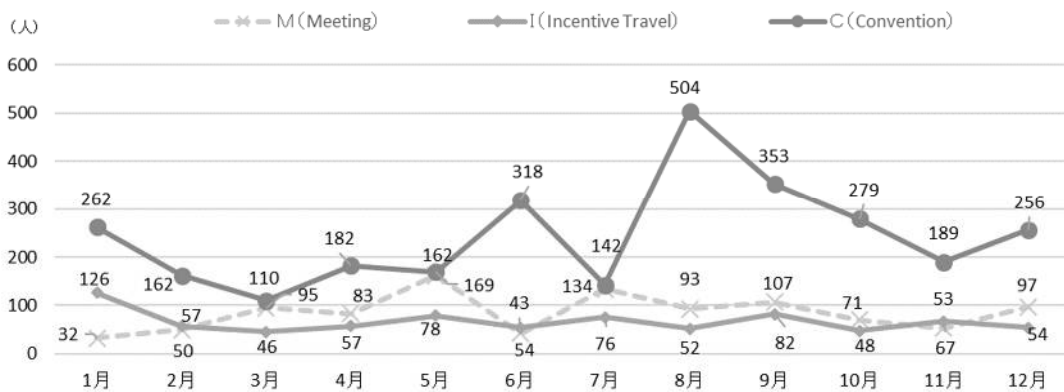
図表20. 平成31(令和元年) 1件当たり参加者数 (単位:人)

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	78	32	50	95	83	162	43	134	93	107	71	53	97
I	65	126	57	46	57	78	54	76	52	82	48	67	54
C	232	262	162	110	182	169	318	142	504	353	279	189	256
E	6,308	14,480	594	5,811	14,438	717	2,074	4,350	575	5,902	11,073	9,134	2,088
月平均	480	1,047	86	392	761	144	142	500	260	877	683	604	313

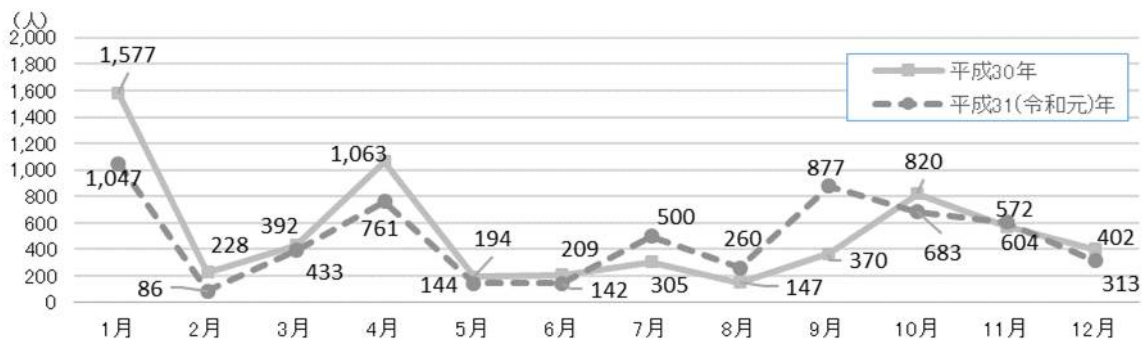
図表21. 平成31(令和元年) 月別1件当たり参加者平均(全分野)



図表22. 平成31(令和元年) 月別1件当たり参加者平均 (Event, Exhibitionを除く3分野)



図表23. 月別1件当たり参加者数 全体平均 平成30年と平成31(令和元年)年の比較



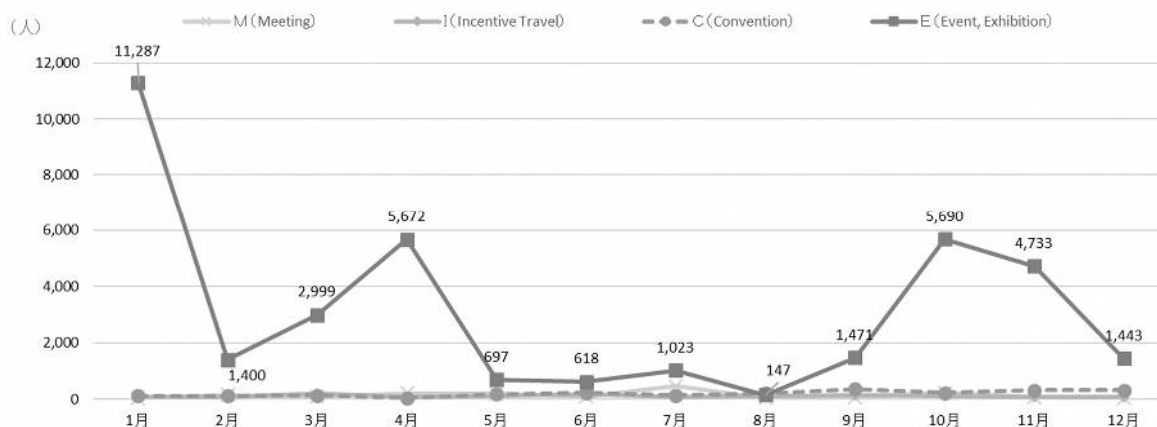
<参考>平成30年の月別1件当たり参加者数

図表 24. 平成30年1件当たり参加者平均

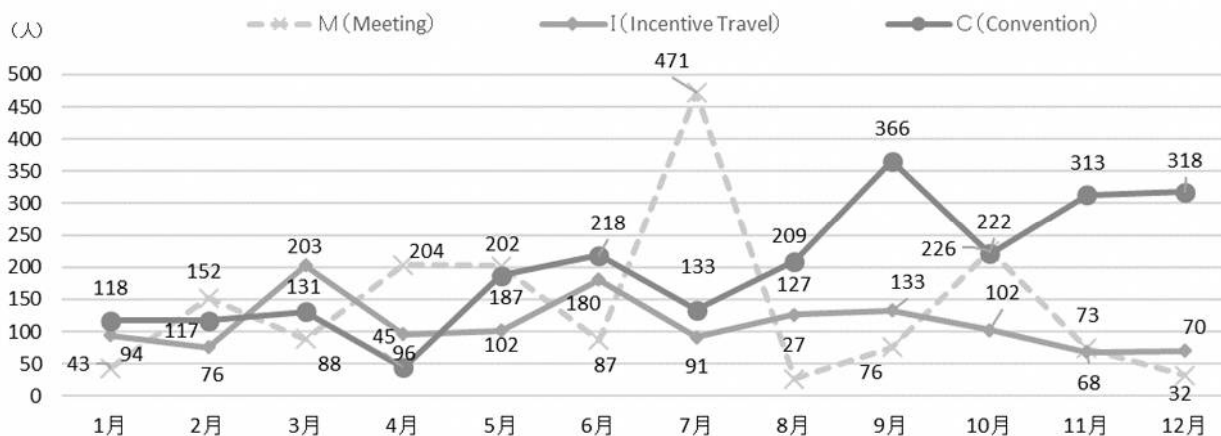
(単位:人)

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	140	43	152	88	204	202	87	471	27	76	226	73	32
I	112	94	76	203	96	102	180	91	127	133	102	68	70
C	198	118	117	131	45	187	218	133	209	366	222	313	318
E	3,098	11,287	1,400	2,999	5,672	697	618	1,023	147	1,471	5,690	4,733	1,443
月平均	550	1,577	228	433	1,063	194	209	305	147	370	820	572	402

図表 25. 平成30年 月別・1件当たり参加者平均(全分野)



図表 26. 平成30年 1件当たり参加者平均(Event, Exhibitionを除く3分野)



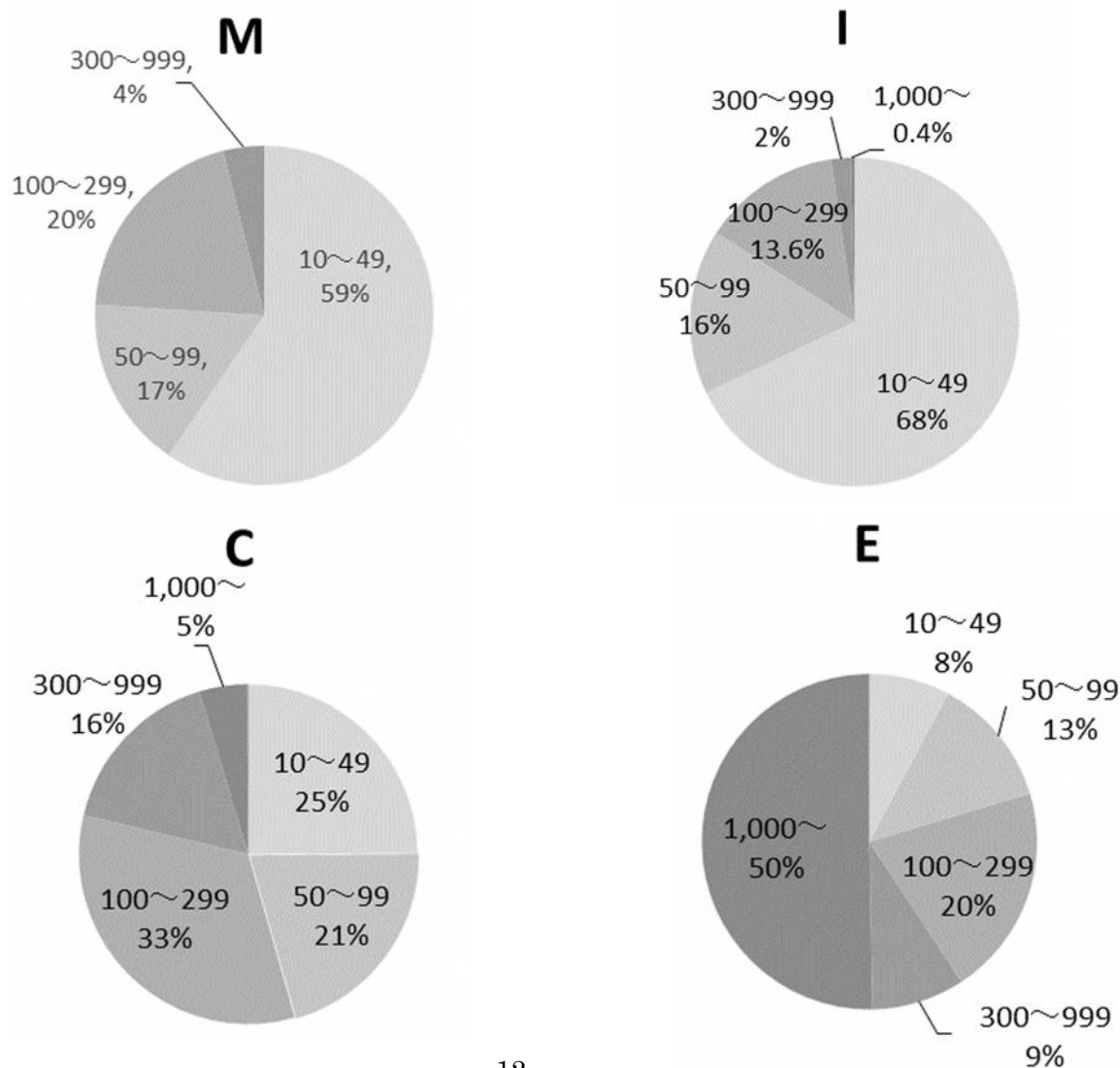
#### (4) 規模別開催件数

規模別にみると、昨年と同様に参加者「10～49人」の小規模催事が最も多く、特に Incentive Travel の件数が 481 件増加しており、飛躍的に伸びている。100名以上の開催件数についてはどの催事においても減少傾向にある。

図表 27. 平成 31(令和元年)年 規模別開催件数

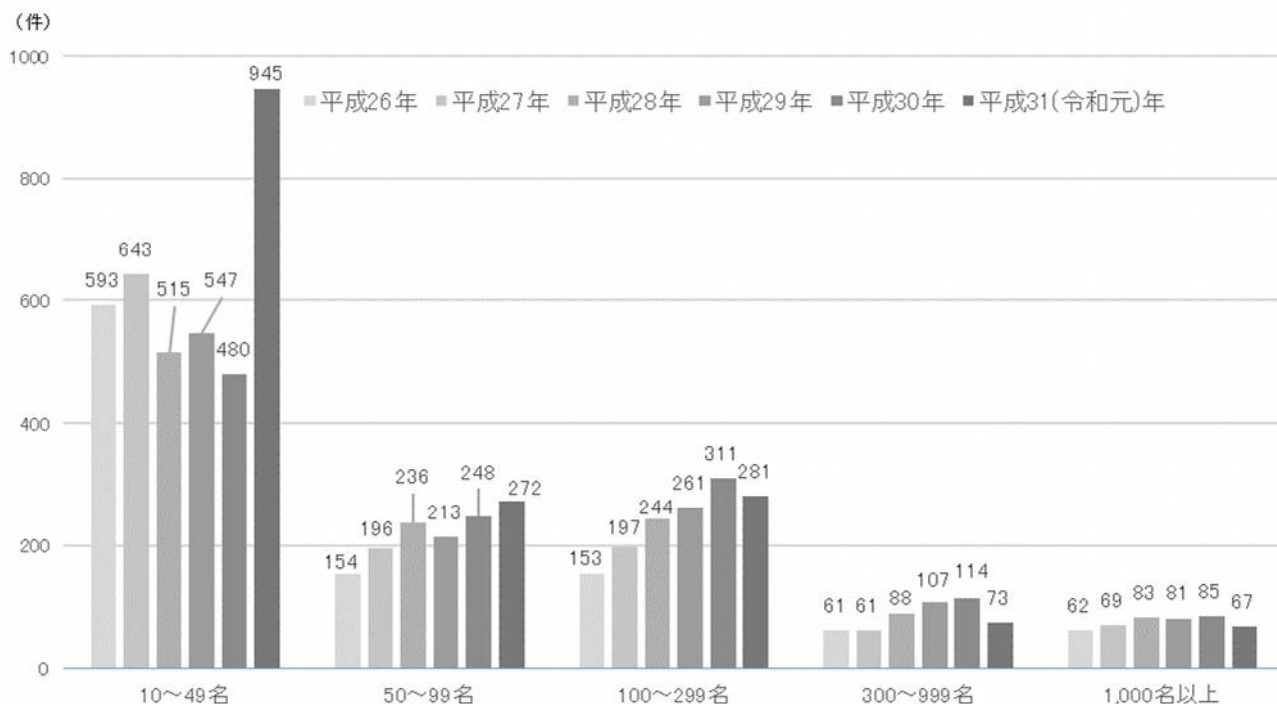
参加者数(人)	10～49		50～99		100～299		300～999		1,000～		計 件数 (前年比)
	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	
M	76 (-15)	59%	21 (-16)	17%	26 (3)	20%	5 (-6)	4%	0 (-8)	0%	128 (-42)
I	808 (481)	68%	193 (57)	16%	162 (-4)	13.6%	23 (-16)	2%	5 (-1)	0.4%	1,191 (517)
C	53 (-1)	25%	45 (-13)	21%	72 (-10)	33%	36 (-3)	16%	10 (2)	5%	216 (-25)
E	8 (0)	8%	13 (6)	13%	21 (-19)	20%	9 (-16)	9%	52 (-11)	50%	103 (-50)
計	945 (465)	58%	272 (24)	17%	281 (-30)	17%	73 (-41)	4%	67 (-18)	4%	1,638 (400)

#### 分野別構成比





図表 28. 規模別開催件数の推移【平成 26 年～平成 31(令和元)年】



<参考>平成 30 年 規模別開催件数

図表 29. 平成 30 年 規模別開催件数

(単位:件)

参加者数(人)	10~49		50~99		100~299		300~999		1,000~		計
	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)
M	91 (-30)	54% (68%)	37 (8)	22% (16%)	23 (4)	13% (11%)	11 (7)	6% (2%)	8 (4)	5% (2%)	170 (-7)
I	327 (-55)	48% (57%)	136 (9)	20% (19%)	166 (31)	25% (20%)	39 (14)	6% (4%)	6 (4)	1% (0%)	674 (3)
C	54 (37)	23% (8%)	58 (8)	24% (24%)	82 (1)	34% (39%)	39 (-7)	16% (22%)	8 (-7)	3% (7%)	241 (32)
E	8 (-19)	5% (18%)	17 (10)	11% (5%)	40 (14)	26% (17%)	25 (-7)	17% (21%)	63 (3)	41% (39%)	153 (1)
計	480 (-67)	39% (45%)	248 (35)	20% (18%)	311 (50)	25% (22%)	114 (7)	9% (9%)	85 (4)	7% (7%)	1,238 (29)

### (5) 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数

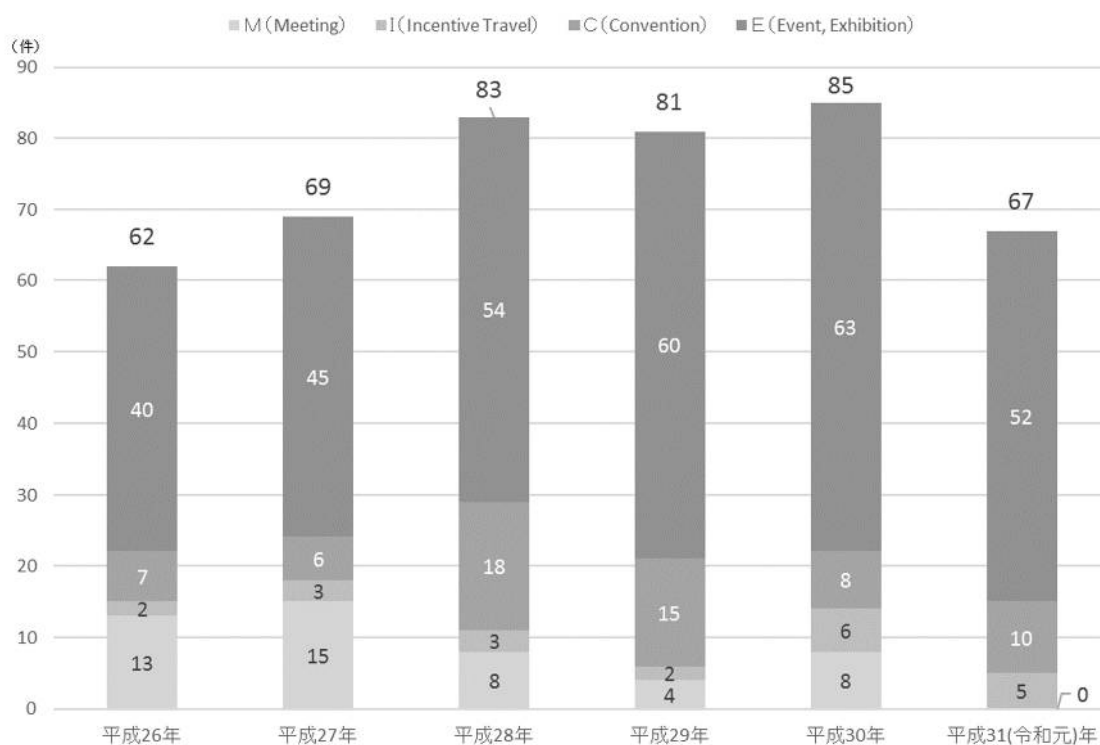
平成 31 (令和元) 年の参加者「1,000 人以上」の催事開催件数は 67 件で、昨年より 18 件減少している。

また、催事別にみると、Convention のみ増加している。

図表 30. 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数の推移【平成 26 年～平成 31(令和元)年】 (単位:件)

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		平成 31 (令和元)年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
M(Meeting)	13	21%	15	22%	8	10%	4	5%	8	9%	0	0%
I(Incentive Travel)	2	3%	3	4%	3	4%	2	2%	6	7%	5	7%
C(Convention)	7	11%	6	9%	18	22%	15	19%	8	9%	10	15%
E(Event, Exhibition)	40	65%	45	65%	54	65%	60	74%	63	74%	52	78%
合計	62		69		83		81		85		67	

図表 31. 参加者数 1,000 人以上の催事開催件数の推移【(平成 26 年～平成 31(令和元)年】



## (6) 参加者の地域分布

平成 31 (令和元) 年は 786,967 人のうち県外参加者が 247,339 人、前年比 137%、66,400 人の増加となっている。海外の参加者は 11,904 人増加し前年比 158%となった。

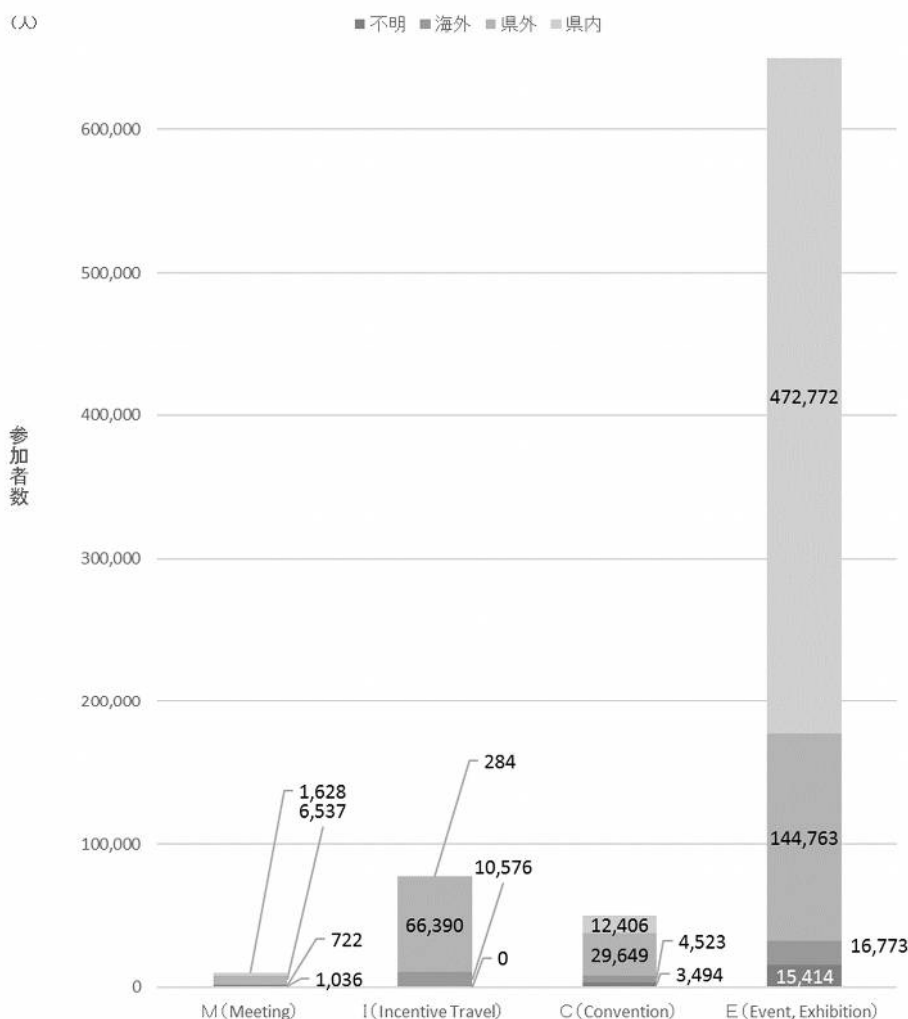
催事別にみると、Incentive Travel の県外参加者が 5,886 人増加しており、前年比 110%となっている。また、Event, Exhibition の海外参加者は 16,773 人となっており前年比 311%となっている。

図表 32. 平成 31(令和元)年 参加者の地域分布

(単位:人)

		合計	県内	県外	海外	不明
M (Meeting)	人数	9,923	1,628	6,537	722	1,036
	(%)	100%	17%	66%	7%	10%
I (Incentive Travel)	人数	77,250	284	66,390	10,576	0
	(%)	100%	0.4%	86%	13.6%	0.0%
C (Convention)	人数	50,072	12,406	29,649	4,523	3,494
	(%)	100%	25%	59%	9%	7%
E (Event, Exhibition)	人数	649,722	472,772	144,763	16,773	15,414
	(%)	100%	73%	22%	3%	2%
合計	人数	786,967	487,090	247,339	32,594	19,944
	(%)	100%	62%	31%	4%	3%

図表 33. 平成 31(令和元)年 参加者の地域分布



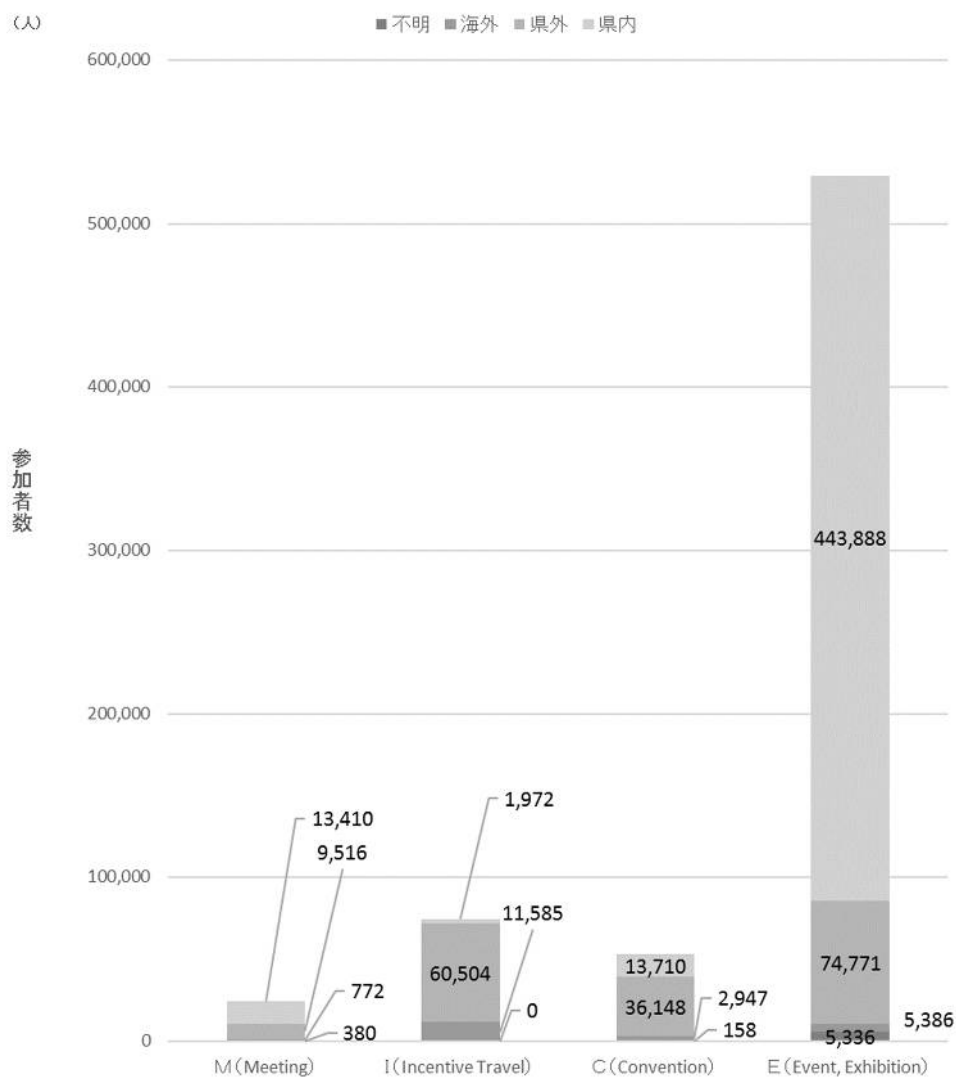
<参考>平成 30 年 参加者の地域分布

図表 34. 平成 30 年 参加者の地域分布

(単位:人)

		合計	県内	県外	海外	不明
M (Meeting)	人数	24,078	13,410	9,516	772	380
	(%)	100%	56%	39%	3%	2%
I (Incentive Travel)	人数	74,061	1,972	60,504	11,585	0
	(%)	100%	2%	82%	16%	0.0%
C (Convention)	人数	52,963	13,710	36,148	2,947	158
	(%)	100%	26%	68%	6%	0%
E (Event, Exhibition)	人数	529,381	443,888	74,771	5,386	5,336
	(%)	100%	84%	14%	1%	1%
合計	人数	680,483	472,980	180,939	20,690	5,874
	(%)	100%	69%	27%	3%	1%

図表 35. 平成 30 年 参加者の地域分布



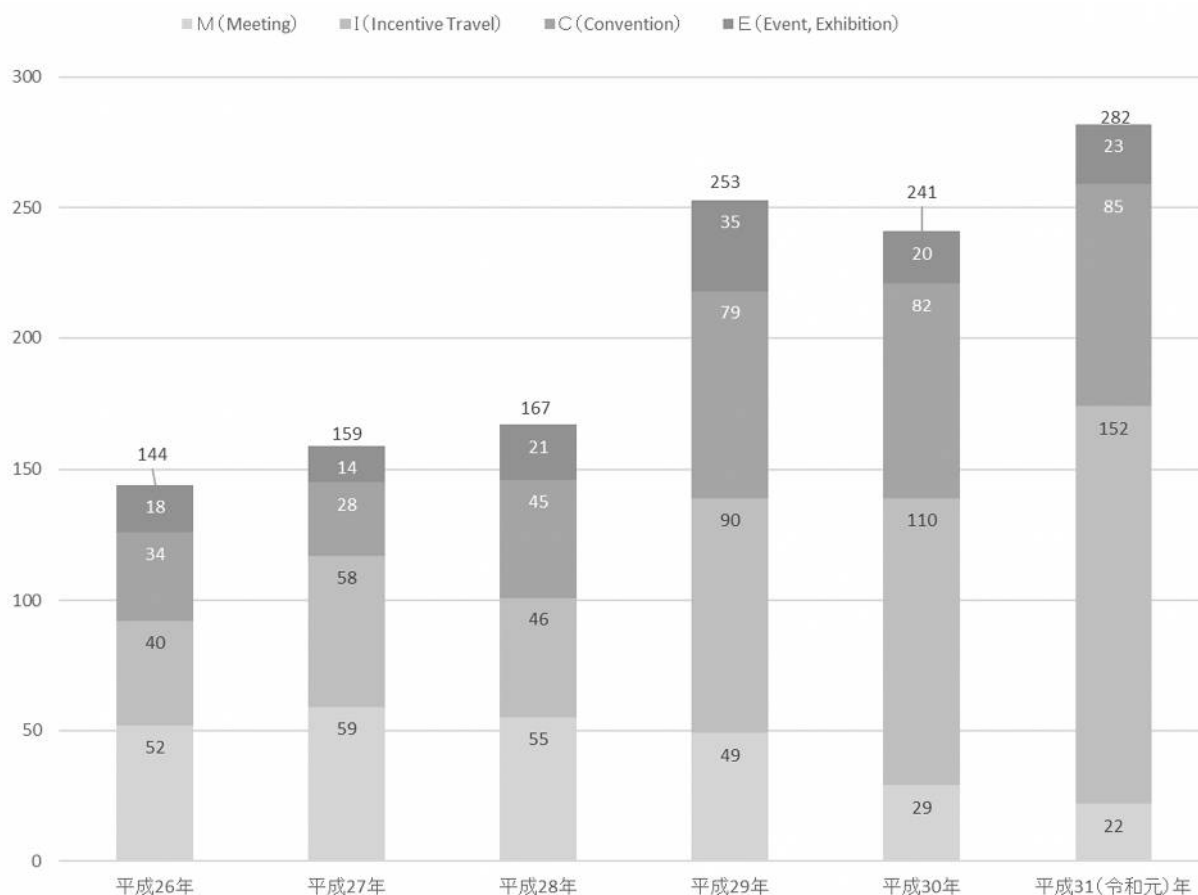
### (7) 海外からの参加があった催事

平成31(令和元)年に海外からの参加者のあった催事は282件で、前年より41件増となっている。催事別では、Incentive travelが42件増と伸びが大きく、平成26年度と比べると約4倍となっている。

図表 36. 海外からの参加者があった催事の開催件数【平成26年～平成31(令和元)年】

	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	(前年比)
M	52	36%	59	37%	53	22%	49	19%	29	12%	22	8%	76%
I	40	28%	58	36%	108	44%	90	36%	110	46%	152	54%	138%
C	34	24%	28	18%	59	24%	79	31%	82	34%	85	30%	104%
E	18	12%	14	9%	25	10%	35	14%	20	8%	23	8%	115%
合計	144		159		245		253		241		282		
(参考) 全体件数	1,023		1,166		1,177		1,209		1,238		1,638		
(海外から参加があった催事の割合)	14%		13%		14%		20%		19%		17%		

図表 37. 海外からの参加者があった催事の開催件数推移【平成26年～平成31(令和元)年】



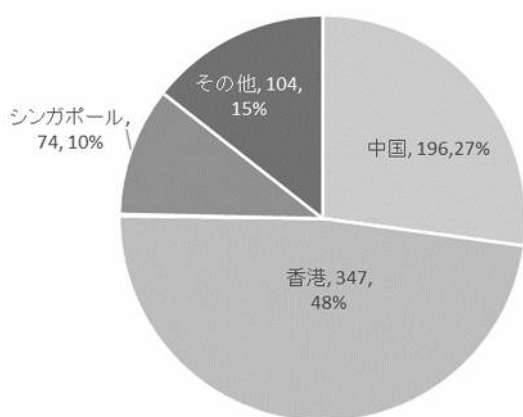
図表 38. 平成 31(令和元年)年 国・地域別参加者数 (単位:人)

	台湾	中国	香港	韓国	タイ	シンガポール	その他不明	計
M(Meeting)	0	196	347	1	0	74	104	722
I(Incentive Travel)	1,385	4,104	1,396	1,409	550	308	1,424	10,576
C(Convention)	485	840	39	624	61	53	2,421	4,523
E(Event, Exhibition)	4,070	14	3	4	11	45	12,626	16,759
計	5,940	5,154	1,785	2,038	622	480	16,575	32,594

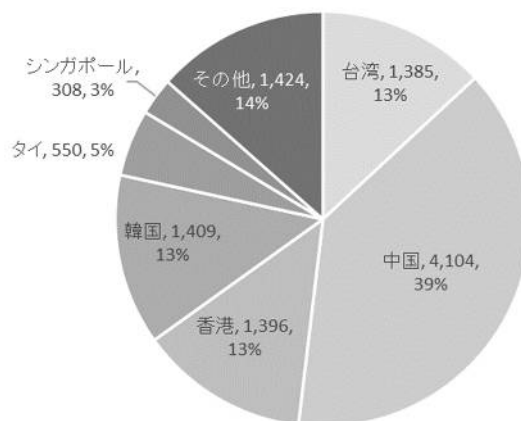
図表 39. 平成 31(令和元年)年 催事種類別 国・地域別参加者の構成比

※構成比が 1%以下の国については非表示

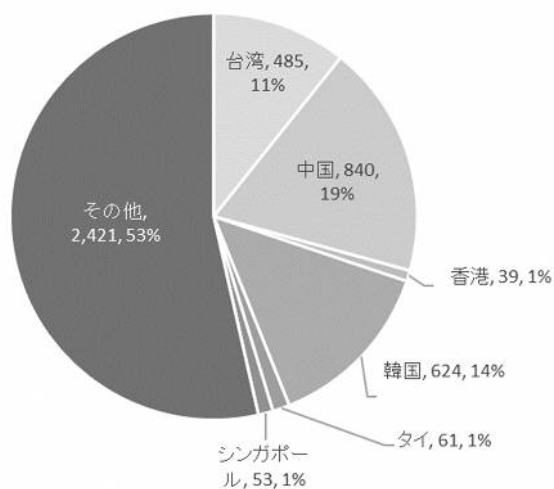
M(Meeting)



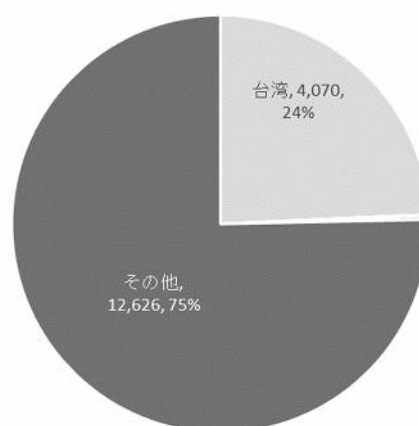
I(Incentive Travel)



C(Convention)



E(Event, Exhibition)



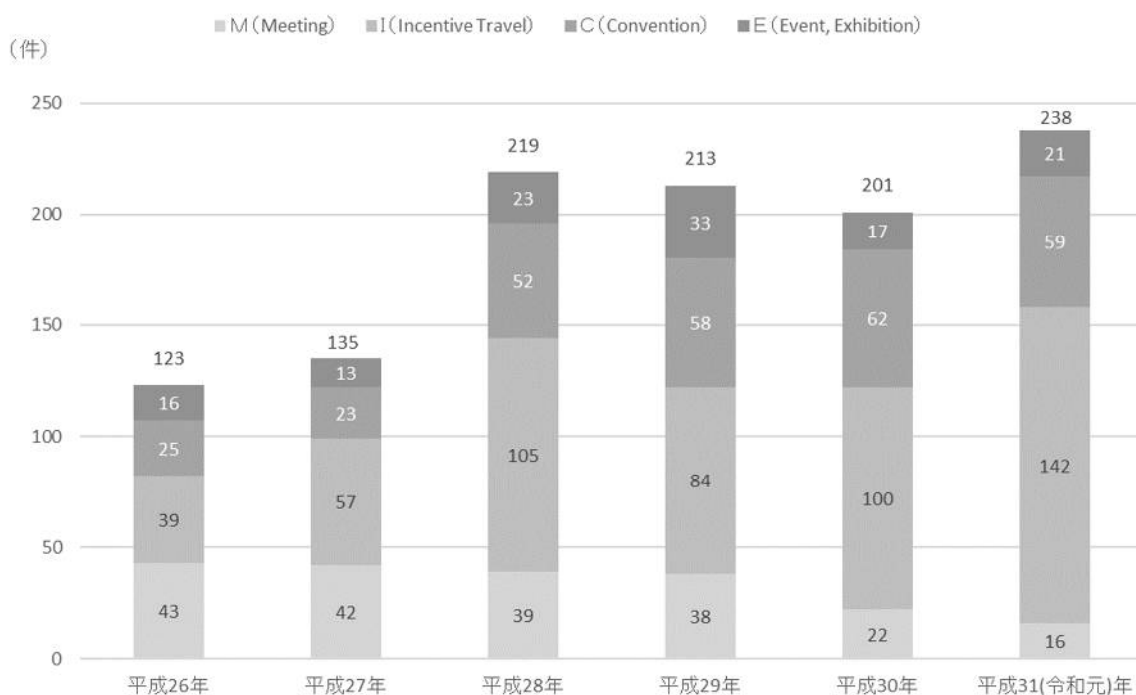
### (8) 海外参加者 10 人以上／50 人以上の催事

海外参加者 10 人以上の催事は、238 件と前年より 37 件増となっている。Incentive Travel が 142 件と前年より 42 件増加したことが寄与した一方で、Incentive Travel 以外の催事についてはほぼ横ばいとなっている。

図表 40. 海外参加者 10 人以上開催件数【平成 26 年～平成 31(令和元)年】(単位:件)

区分	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		平成 31 (令和元)年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
M(Meeting)	43	(35%)	42	(31%)	39	(18%)	38	(18%)	22	(11%)	16	(7%)
I(Incentive Travel)	39	(32%)	57	(42%)	105	(48%)	84	(40%)	100	(50%)	142	(60%)
C(Convention)	25	(20%)	23	(17%)	52	(24%)	58	(27%)	62	(31%)	59	(24%)
E(Event, Exhibition)	16	(13%)	13	(10%)	23	(11%)	33	(15%)	17	(8%)	21	(9%)
合計	123		135		219		213		201		238	
(参考) 全体件数 (10 人以上の割合)	1,023 (12%)		1,166 (12%)		1,177 (19%)		1,209 (18%)		1,238 (16%)		1,638 (15%)	

図表 41. 海外参加者 10 人以上開催件数【平成 26 年～平成 31(令和元)年】

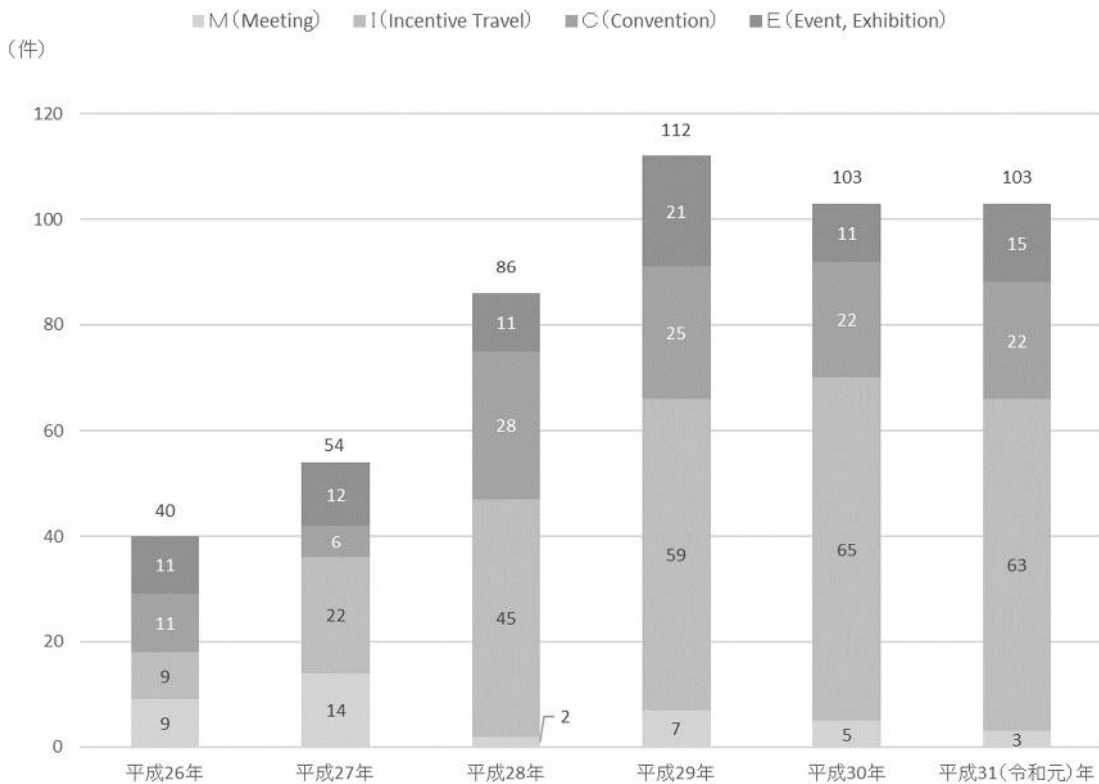


平成 31（令和元）年の海外参加者 50 人以上の催事は、全体件数 1,638 件のうち 103 件で全体の 6.3%を占めている。Event, Exhibition は微増した一方、Meeting、Incentive Travel は微減となった。

図表 42. 海外参加者 50 人以上の開催件数【平成 26 年～平成 31(令和元)年】（単位：件）

区分	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		平成 31 (令和元)年	
	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	件数	割合	件数	割合
M (Meeting)	9	(23%)	14	(26%)	2	(2%)	7	(6%)	5	(5%)	3	(3%)
I (Incentive Travel)	9	(23%)	22	(41%)	45	(52%)	59	(53%)	65	(63%)	63	(61%)
C (Convention)	11	(28%)	6	(11%)	28	(33%)	25	(22%)	22	(21%)	22	(21%)
E (Event, Exhibition)	11	(28%)	12	(22%)	11	(13%)	21	(19%)	11	(11%)	15	(15%)
合計	40		54		86		112		103		103	
(参考) 全体件数 (50 人以上の割合)	1,023 (3.9%)		1,166 (4.6%)		1,177 (7.3%)		1,209 (9.3%)		1,238 (8.3%)		1,638 (6.3%)	

図表 43. 海外参加者 50 人以上の開催件数【平成 26 年～平成 31(令和元)年】





### (9) 市町村別開催件数

市町村別開催件数は、恩納村が547件で最も多く、続いて那覇市の277件、名護市の181件となっている。

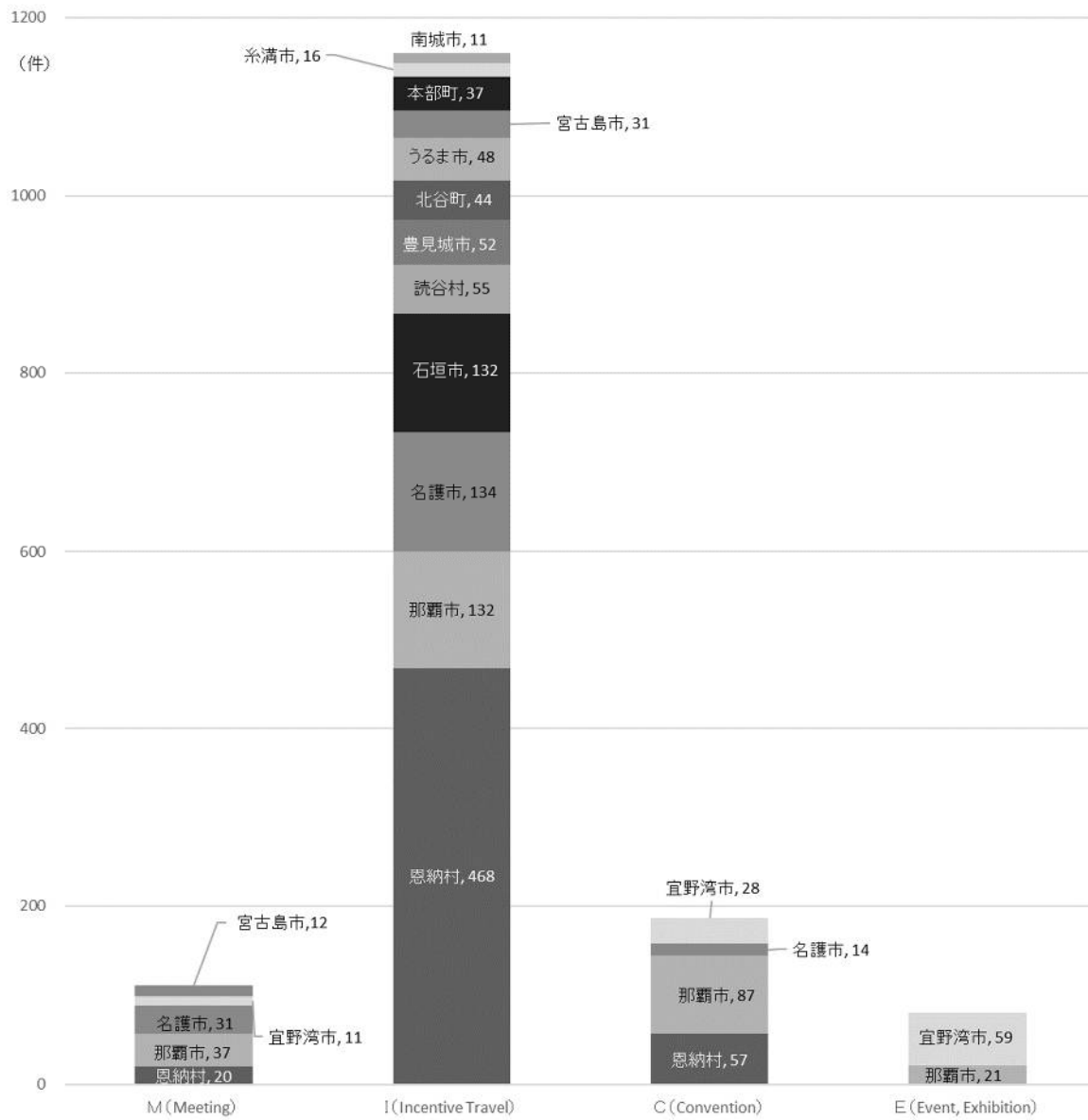
催事別では、Meeting は那覇市と名護市が多く、Incentive Travel は恩納村での開催が突出して多い。Convention は那覇市、恩納村、宜野湾市の順で多く、Event, Exhibition については昨年と同様沖縄コンベンションセンターが所在する宜野湾市が最も多い。

図表 44. 平成 31(令和元)年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C(Convention)	E(Event, Exhibition)
1	恩納村	547	20	468	57	2
2	那覇市	277	36	135	85	21
3	名護市	181	30	135	13	3
4	石垣市	136	1	131	3	1
5	宜野湾市	105	11	8	26	60
6	読谷村	65	5	55	4	1
7	豊見城市	55	0	51	2	2
8	北谷町	54	3	44	5	2
9	うるま市	49	0	48	0	1
10	宮古島市	47	11	32	4	0
11	本部町	44	5	39	0	0
12	糸満市	18	2	16	0	0
13	南城市	17	1	11	2	3
14	久米島町	13	3	8	2	0
15	沖縄市	13	0	6	2	5
16	浦添市	6	0	0	4	2
17	西原町	6	0	0	6	0
18	南風原町	2	0	1	1	0
19	今帰仁村	2	0	2	0	0
20	東村	1	0	1	0	0
	合計	1,638	128	1,191	216	103

図表 45. 平成 31(令和元)年 催事別 市町村別 開催件数  
(年間開催件数が 10 件未満の市町村を除く)



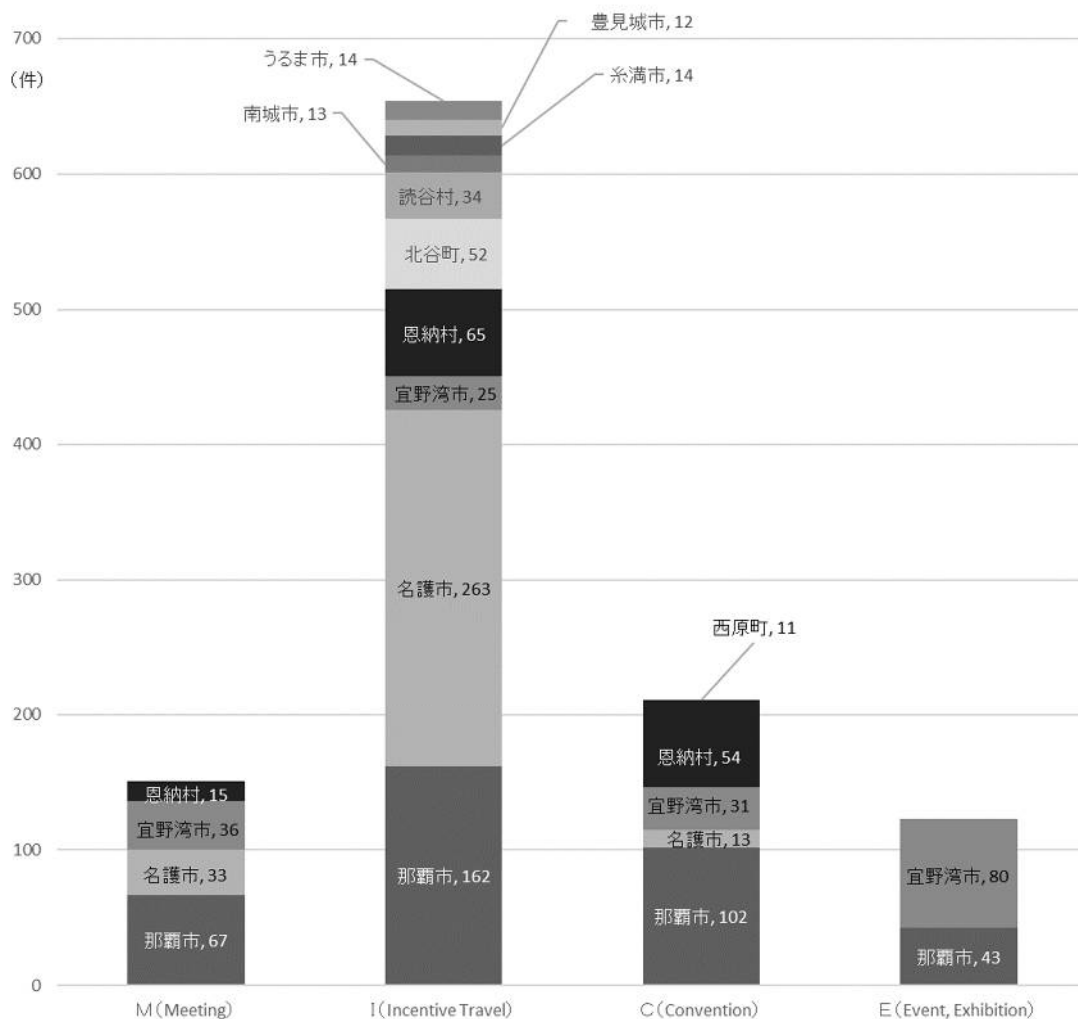
<参考>平成30年 市町村別開催件数

図表 46. 平成30年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C(Convention)	E(Event, Exhibition)
1	那覇市	374	67	162	102	43
2	名護市	314	33	263	13	5
3	宜野湾市	172	36	25	31	80
4	恩納村	134	15	65	54	0
5	北谷町	58	3	52	2	1
6	読谷村	38	1	34	3	0
7	南城市	25	2	13	2	8
8	糸満市	22	4	14	4	0
9	豊見城市	18	2	12	2	2
10	うるま市	17	1	14	2	0
11	西原町	12	0	0	11	1
12	宮古島市	9	3	2	3	1
13	石垣市	8	0	5	3	0
14	沖縄市	8	0	0	2	6
15	浦添市	6	0	0	1	5
16	本部町	5	0	3	1	1
17	八重瀬町	4	3	1	0	0
18	南風原町	2	0	0	2	0
19	久米島町	2	0	0	2	0
20	今帰仁村	1	0	1	0	0
21	多良間村	1	0	0	1	0
	不明	8	0	8	0	0
	合計	1,238	170	674	241	153

図表 47. 平成 30 年 催事別 市町村別 開催件数 (年間開催件数が 10 件未満の市町村を除く)



### (10) エリア別開催件数

沖縄 MICE 振興戦略に基づく 5 つのエリアに分けて、MICE 開催件数を集計した結果、恩納村・名護市を含む北部エリアが 775 件で最も多く、次に那覇市を含む南部エリアが 365 件となっている。恩納村の Incentive Travel の開催件数が増加した影響で北部の Incentive Travel の件数が増加している。宮古・八重山エリアと昨年と比較して大幅に増加している。

図表 48. 平成 31(令和元年)年 MICE エリア別開催件数

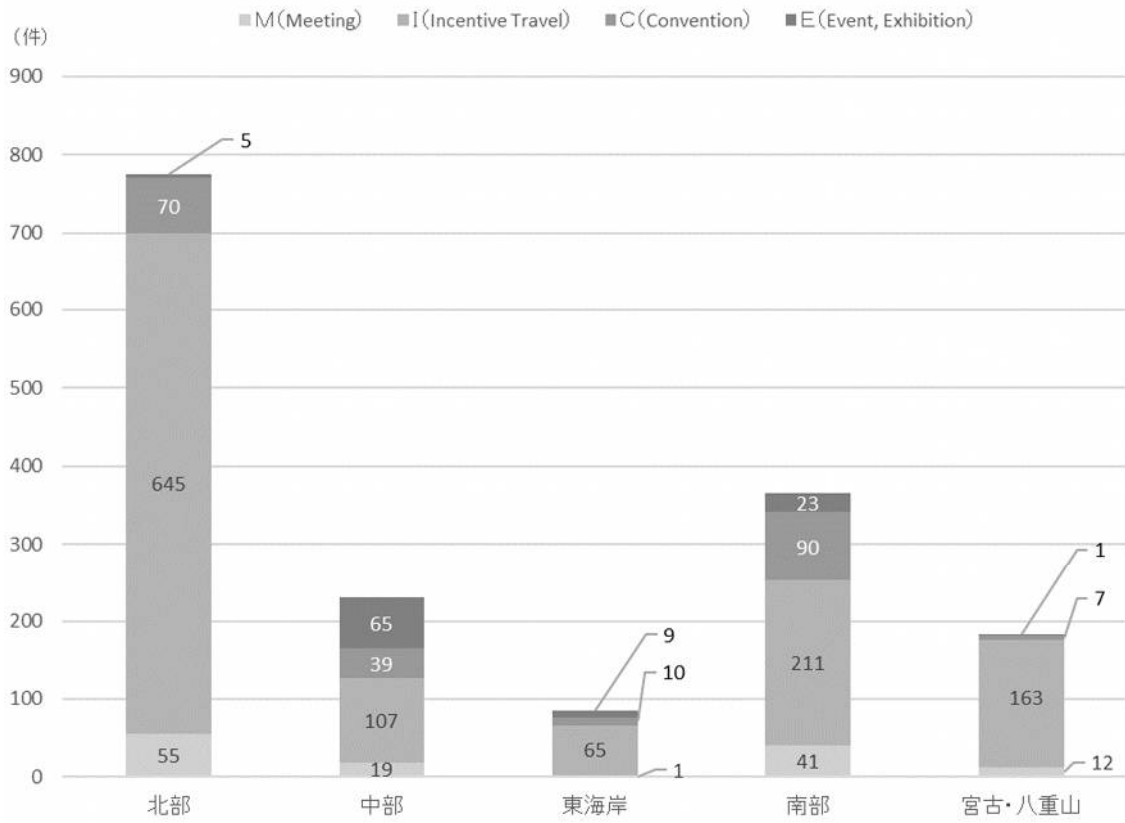
(単位:件)

エリア区分	開催件数	M	I	C	E
北部	775	55	645	70	5
中部	230	19	107	39	65
東海岸	85	1	65	10	9
南部	365	41	211	90	23
宮古・八重山	183	12	163	7	1
計	1,638	128	1,191	216	103

図表 49. MICE エリア区分一覧

北部		中部	東海岸	南部		宮古・八重山
名護市	宜野座村	宜野湾市	沖縄市	那覇市	渡嘉敷村	宮古島市
国頭村	金武町	浦添市	うるま市	糸満市	座間味村	多良間村
大宜味村	伊江村	読谷村	南城市	豊見城市	栗国村	石垣市
東村	伊平屋村	嘉手納町	北中城村	南風原町	渡名喜村	竹富町
今帰仁村	伊是名村	北谷町	中城村	八重瀬町	南大東村	与那国町
本部町			西原町	久米島町	北大東村	
恩納村			与那原町			

図表 50. 平成 31(令和元年)年 エリア別開催件数



(11) 施設の種別別開催件数

施設別開催件数をみるとホテルと会議施設が突出して上位を占めており、全体の約8割を占めている。

ユニークベニューでの開催件数は434件、前年比396件増と増加顕著となっている。

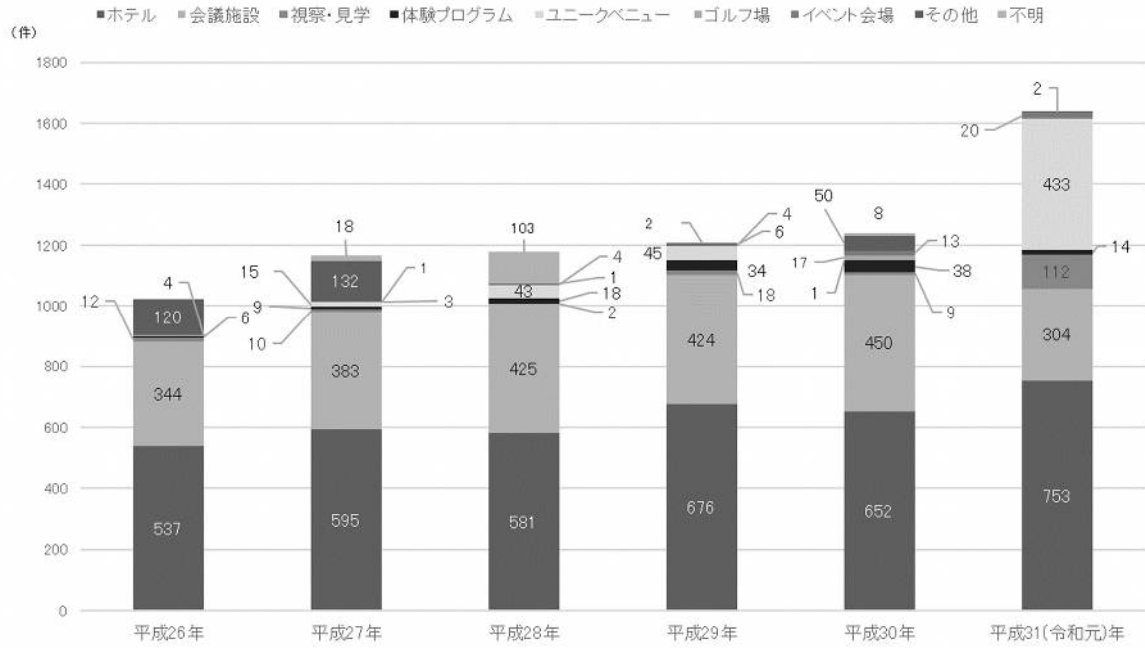
図表 51. 施設の種別別開催件数【平成26年～平成31(令和元)年】

(単位:件)

No		平成26年					平成27年					平成28年				
		M	I	C	E	計	M	I	C	E	計	M	I	C	E	計
1	ホテル	70	448	11	8	537	70	503	13	9	595	104	414	45	18	581
2	会議施設	125	74	73	72	344	161	76	69	77	383	128	82	131	84	425
3	視察・見学	0	11	0	1	12	0	10	0	0	10	1	1	0	0	2
4	体験プログラム	0	6	0	0	6	0	9	0	0	9	0	18	0	0	18
5	ユニークベニュー	0	2	1	1	4	2	8	0	5	15	3	28	0	12	43
6	ゴルフ場	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
7	イベント会場	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	0	3	4
8	その他	28	90	1	1	120	31	93	1	7	132	0	0	0	1	1
9	不明	0	0	0	0	0	9	7	1	1	18	4	98	1	0	103
	合計	223	631	86	83	1,023	273	707	84	102	1,166	240	642	177	118	1,177

No		平成29年					平成30年					平成31(令和元)年				
		M	I	C	E	計	M	I	C	E	計	M	I	C	E	計
1	ホテル	67	533	47	29	676	70	511	57	14	652	87	609	42	15	753
2	会議施設	105	64	154	101	424	86	78	171	115	450	40	26	169	69	304
3	その他	1	14	3	0	18	7	36	7	0	50	1	0	1	0	2
4	視察・見学	4	23	0	7	34	0	8	1	0	9	0	112	0	0	112
5	体験プログラム	0	31	5	9	45	0	31	1	6	38	0	13	1	0	14
6	ユニークベニュー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	429	2	2	433
7	ゴルフ場	0	1	0	3	4	3	1	0	13	17	0	0	0	0	0
8	イベント会場	0	4	0	2	6	4	1	4	4	13	0	2	1	17	20
9	不明	0	1	0	1	2	0	7	0	1	8	0	0	0	0	0
	合計	177	671	209	152	1,209	170	674	241	153	1,238	128	1,191	216	103	1,638

図表 52. 施設の種別別開催件数の推移【平成 26 年～平成 31(令和元)年】





(12) 産業別開催件数

図表 53. 平成 31(令和元)年産業別開催件数

※産業分類が不明のものを除く

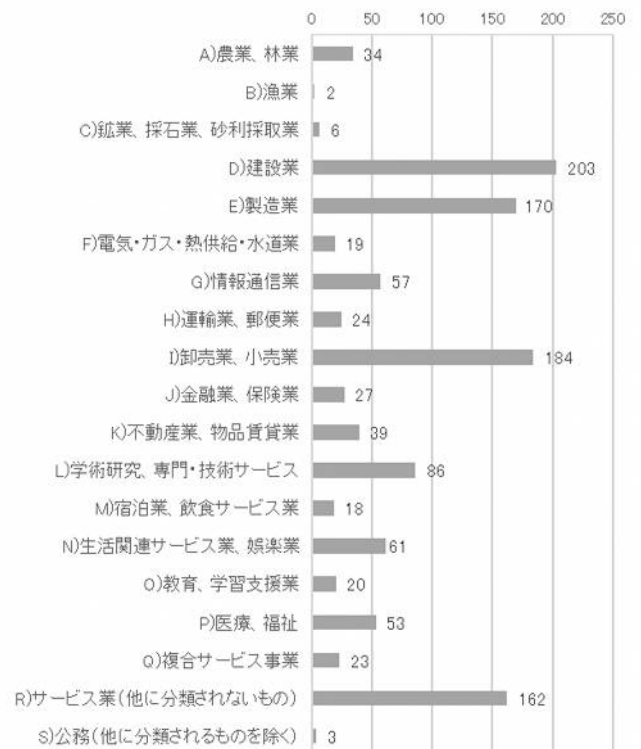
M (Meeting)

主要な企業産業分類名	件数
A)農業、林業	2
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0
D)建設業	4
E)製造業	8
F)電気・ガス・熱供給・水道業	1
G)情報通信業	10
H)運輸業、郵便業	5
I)卸売業、小売業	21
J)金融業、保険業	1
K)不動産業、物品賃貸業	3
L)学術研究、専門・技術サービス	25
M)宿泊業、飲食サービス業	3
N)生活関連サービス業、娯楽業	14
O)教育、学習支援業	10
P)医療、福祉	9
Q)複合サービス事業	1
R)サービス業(他に分類されないもの)	11
S)公務(他に分類されるものを除く)	0
合計	128



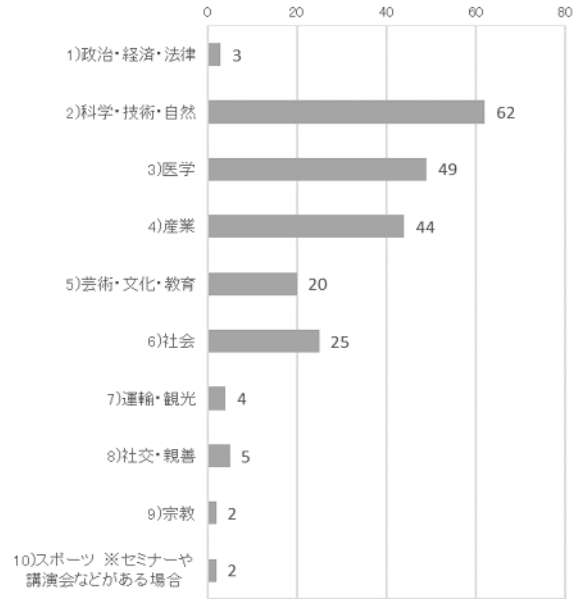
I (Incentive Travel)

主要な企業産業分類名	件数
A)農業、林業	34
B)漁業	2
C)鉱業、採石業、砂利採取業	6
D)建設業	203
E)製造業	170
F)電気・ガス・熱供給・水道業	19
G)情報通信業	57
H)運輸業、郵便業	24
I)卸売業、小売業	184
J)金融業、保険業	27
K)不動産業、物品賃貸業	39
L)学術研究、専門・技術サービス	86
M)宿泊業、飲食サービス業	18
N)生活関連サービス業、娯楽業	61
O)教育、学習支援業	20
P)医療、福祉	53
Q)複合サービス事業	23
R)サービス業(他に分類されないもの)	162
S)公務(他に分類されるものを除く)	3
合計	1191



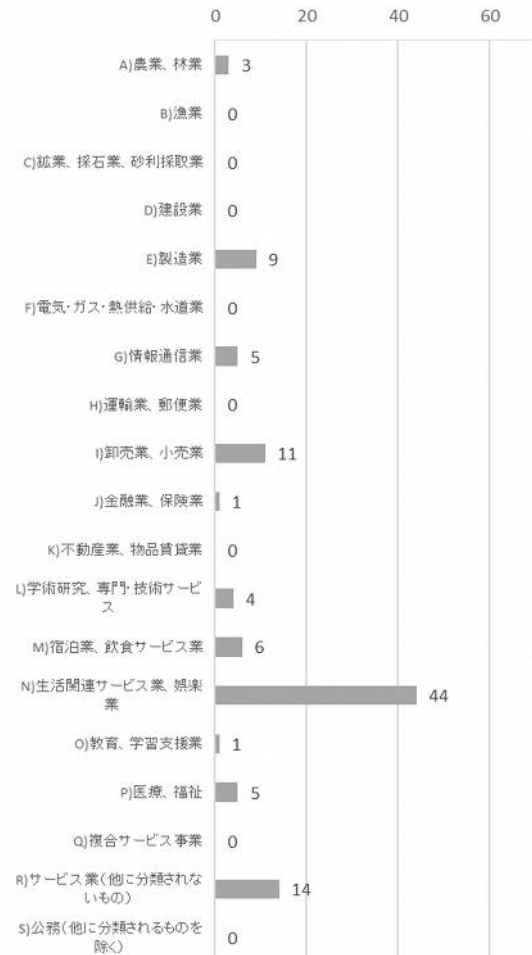
C(Convention)

会議分野名	件数
1)政治・経済・法律	3
2)科学・技術・自然	62
3)医学	49
4)産業	44
5)芸術・文化・教育	20
6)社会	25
7)運輸・観光	4
8)社交・親善	5
9)宗教	2
10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合	2
合計	216



E(Event, Exhibition)

主要な企業産業分類名	件数
A)農業、林業	3
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0
D)建設業	0
E)製造業	9
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0
G)情報通信業	5
H)運輸業、郵便業	0
I)卸売業、小売業	11
J)金融業、保険業	1
K)不動産業、物品賃貸業	0
L)学術研究、専門・技術サービス	4
M)宿泊業、飲食サービス業	6
N)生活関連サービス業、娯楽業	44
O)教育、学習支援業	1
P)医療、福祉	5
Q)複合サービス事業	0
R)サービス業(他に分類されないもの)	14
S)公務(他に分類されるものを除く)	0
合計	103



## 1. 6. 経済波及効果の結果

平成 28 (2016) 年度に策定した「沖縄 MICE 振興戦略」で掲げる目標指標の達成状況を把握することを目的として、本調査で得られた基礎データを基に、経済効果の算出を行った。

### 1. 6. 1. 経済効果（直接効果）

経済効果（直接効果）の算出については、沖縄 MICE 振興戦略で示している以下の算出方法を用いた。なお、「不明」の参加者数は、催事別の県内・県外・海外の参加者の構成比に合わせて割り振りを行った。

算出結果は約 273 億円となり、前年の 243 億円から 30 億円の増加となった。

#### 【計算式】

$$\text{経済効果 (直接効果)} = \left[ \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[ \begin{array}{c} \text{主催者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[ \begin{array}{c} \text{出展者} \\ \text{原単位} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{出展者数} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \right]$$

出典:沖縄県(平成 28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

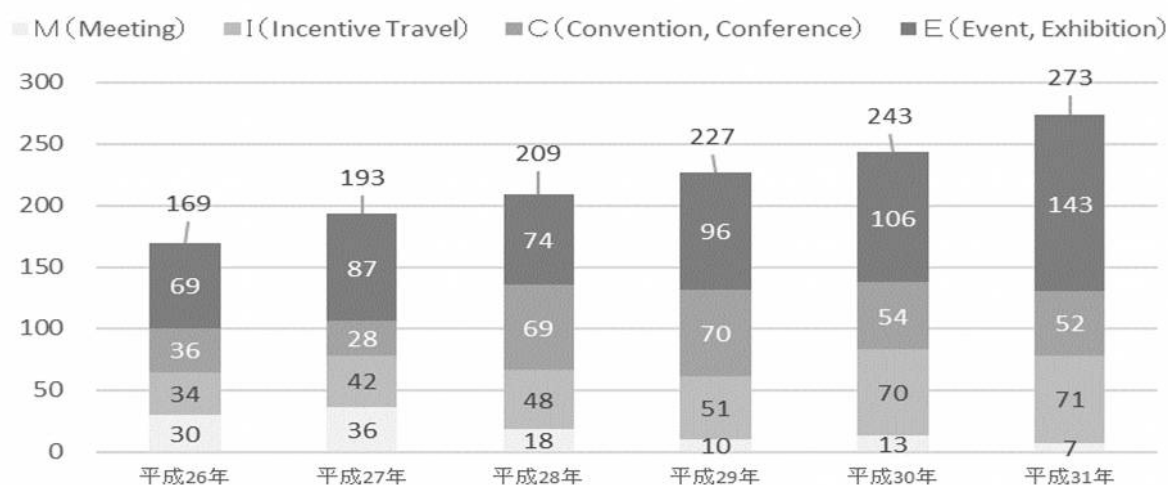
図表 54 平成 31 年 催事別経済効果（直接効果）（単位：億円）

区分	参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果	
	(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)	
M(Meeting)	3	4	-	7	
I(Incentive Travel)	26	45	-	71	
C(Convention, Conference)	27	25	-	52	
E(Event, Exhibition)	72	71	-	143	
内訳	Ex(展示会等)	6	8	-	14
	Ev(イベント)	66	63	-	129
計	128	145	-	273	

図表 55 経済効果(直接効果)の推移(平成 26 年～31 年) (単位：億円)

区分	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 (令和元年)		
						金額	前年比	
M(Meeting)	30	36	18	10	13	7	-6	
I(Incentive Travel)	34	42	48	51	70	71	1	
C(Convention, Conference)	36	28	69	70	54	52	-2	
E(Event, Exhibition)	69	87	74	96	106	143	37	
内訳	Ex(展示会等)	19	16	17	28	16	14	-2
	Ev(イベント)	50	71	57	68	90	129	39
計	169	193	209	227	243	273	30	

図表 56 経済効果(直接効果)の推移(平成 26 年～31 年) (単位：億円)



### 1. 6. 2. 経済波及効果（間接効果）

経済波及効果（間接効果）の算出については、本調査で得られた基礎データを基に、1 催事当たりの会期日数、参加者数等のモデルを作成し、観光庁の「MICE の経済波及効果測定のための地域別簡易測定モデル」（観光庁モデル）を用いて算出した後、平成 30 年の MICE 開催件数を乗ずることで算出した。

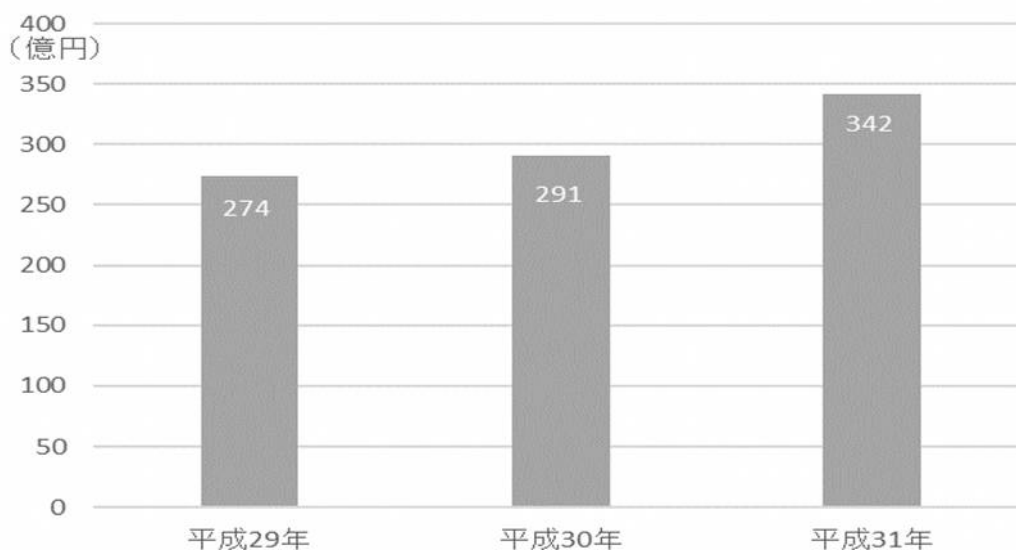
算出の結果、平成 31 年の経済波及効果（間接効果）は約 342 億円となり、前年の 291 億円から 51 億円の増加となった。

#### 【計算式】

$$\boxed{\text{経済波及効果 (間接効果)}} = \boxed{\text{1 催事当たりの経済波及効果 (間接効果)}} \times \boxed{\text{MICE 開催件数 (平成 30 年)}}$$

出典:沖縄県(平成 28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表 57. 経済波及効果(間接効果)の推移(平成 29 年～31 年)



## 1. 7. MICE の取組みに関するアンケート結果

### 1. 7. 1. アンケートの内容

本調査では、県内事業者等の MICE ビジネスへの取組み状況の把握を目的として、アンケート調査を実施した。主なアンケート調査項目については、以下のとおり。

#### 【主なアンケート調査項目】

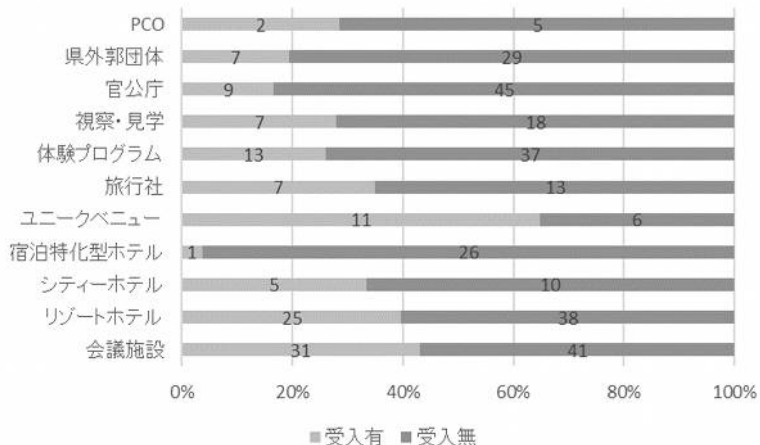
- ① 平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日の期間で MICE を受け入れた、または受け入れる予定の有無
- ② MICE 関連の部署・担当者の有無
- ③ 平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日において受け入れた MICE の受入経緯
- ④ 平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日の期間における、MICE ビジネスに関する取組み状況

### 1. 7. 2. アンケート結果

Q1：2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日の期間において、MICE を受け入れましたか、または受け入れる予定はありますか？

回答数 386 件のうち、MICE 受入れがあったと回答したのは 118 件で、全体の 30.6%であった。268 件は受け入れなしとのことであった。

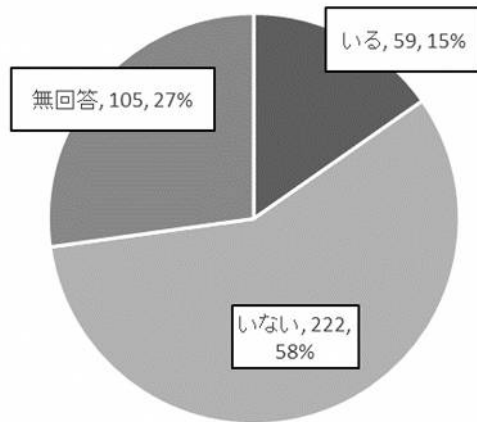
団体・施設・期間	受入有	受入無
会議施設	31	41
リゾートホテル	25	38
シティホテル	5	10
宿泊特化型ホテル	1	26
ユニークベニュー	11	6
旅行社	7	13
体験プログラム	13	37
視察・見学	7	18
官公庁	9	45
県外郭団体	7	29
PCO	2	5
合計	118	268



Q2：MICE 関連の部署・ご担当者はいらっしゃいますか？

MICE の担当者を設けているとの回答は 59 件で、設けていないのは 222 件であった。

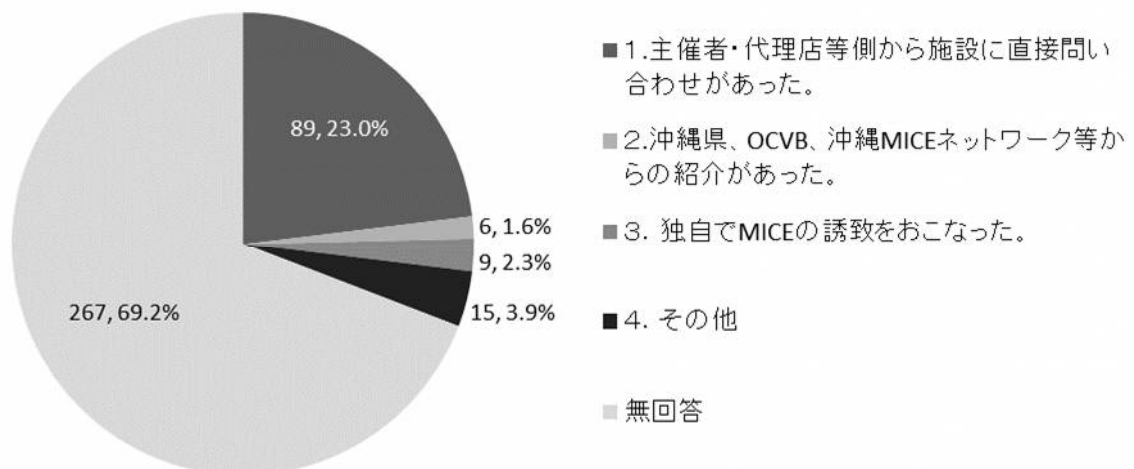
総数	386
担当がいる	59
担当がいない	222
無回答	105



Q3：(Q1で「あり」と回答した場合のみ) 2019年1月1日～2019年12月31日において、受け入れたMICEのうち、受入経緯について最も当てはまる内容についてご回答ください。

主催者、代理店等側から施設に直接問い合わせがあったが最も多く 89 件、23.0%となっている。独自でMICEの誘致を行っているという回答は9件あった。

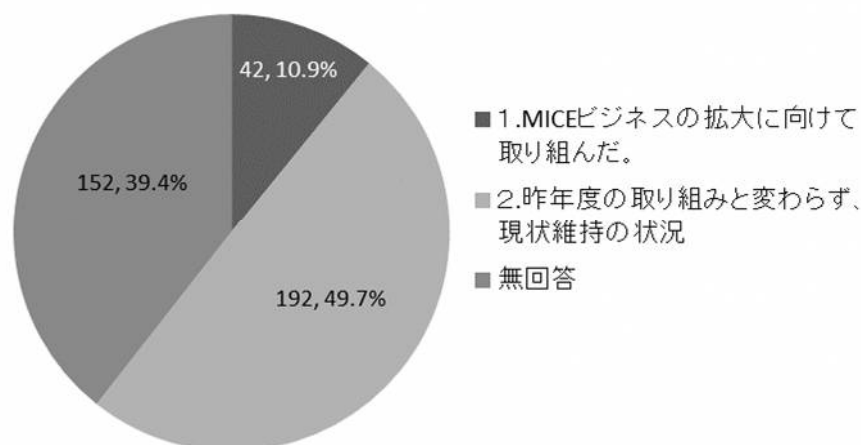
総数	386	100.0%
1.主催者・代理店等側から施設に直接問い合わせがあった。	89	23.0%
2.沖縄県、OCVB、沖縄MICEネットワーク等からの紹介があった。	6	1.6%
3. 独自でMICEの誘致をおこなった。	9	2.3%
4. その他	15	3.9%
無回答	267	69.2%



Q4：2019年1月1日～2019年12月31日の期間における、MICEビジネスに関する取組み状況についてご回答ください。

MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ企業は42件、10.9%となった。現状維持と回答した企業は192件、49.7%となった。

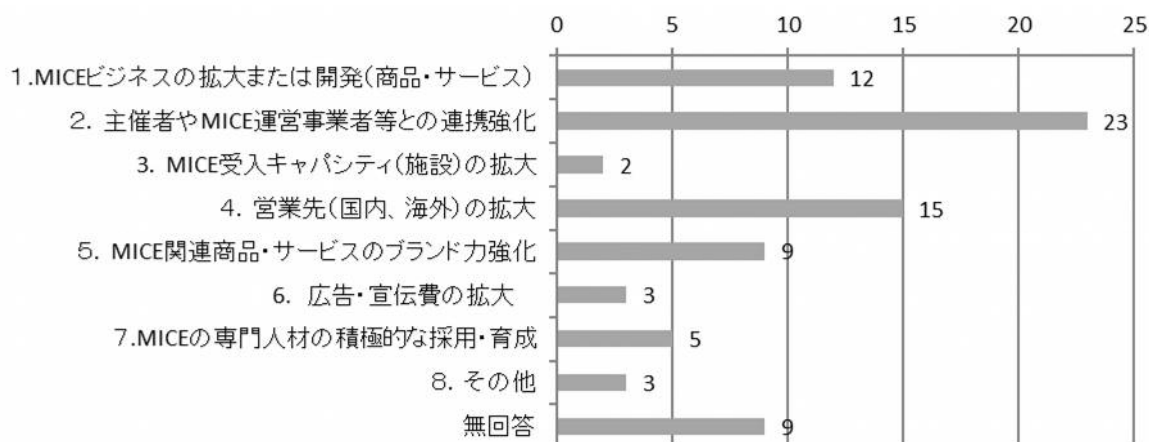
総数	386	100.0%
1.MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ。	42	10.9%
2.昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況	192	49.7%
無回答	152	39.4%



Q5 (1)：取組みの具体的な内容（複数回答可）

(Q4で「1：MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ。」と回答した場合のみ)

MICEビジネスの拡大に取り組んだと回答した施設の具体的な取組み内容は、前年度と同様「主催者やMICE運営事業者等との連携強化」「営業先の拡大」が多い。次いで「MICEビジネスの拡大または開発（商品・サービス）」、「MICE関連商品・サービスのブランド力強化」、の回答が多くなっている。

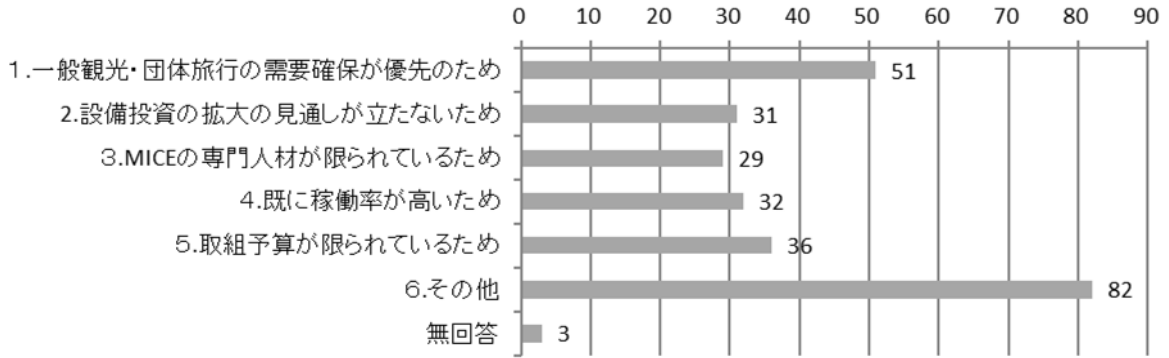




Q5(2):現状維持に関する具体的な理由(複数回答可)

(Q4で「2.昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況」と回答した場合のみ)

MICE ビジネスへの取組みについて「現状維持」と回答した施設等の具体的な理由としては、「その他」が多かったが、その他の理由として特にMICEを対象としていない、人員不足等が挙げられた。次いで多いのが「一般観光・団体旅行の需要確保が優先のため」であった。



## 1. 8 ヒアリング調査結果

### 1. 8. 1. ヒアリング調査の内容

本調査では、施設・事業者が自ら MICE を誘致・開催した成功事例を把握することを目的として、大型案件を取り扱っているヒアリング調査を実施した（参考資料 2. 1. 2.）。主なヒアリング調査項目については、以下のとおり。

#### 【主なヒアリング調査項目】

- ① MICE 誘致又は独自開催までの経緯等
- ② 誘致又は独自開催までのスケジュール
- ③ 沖縄が開催地として選ばれた理由、又は沖縄で開催を検討した理由
- ④ 誘致または独自開催する上で工夫した点
- ⑤ 主催者側の MICE 開催後の感想（評価された点、改善を要望された点）

#### 【ヒアリング対象】

No	区分	催事名	事業者名
1	M・I・C	インセンティブ、ミーティング案件等	沖縄ハーバービューホテル
2	I	大型インセンティブ	宜野座村観光協会
3	C	学術会議	沖縄科学技術大学院大学

## 1. 8. 2. ヒアリング結果

### (1) インセンティブ、ミーティング案件

[MICE 誘致までの経緯等]

開催した催事名	(会社名非公開) kick-off meeting 2020
開催日	2020年1月11日～1月15日
催事内容	Kick-off meeting
競合(または検討した)開催地	ダナン、バンコク、福岡、東京

[誘致から開催までのスケジュール]

誘致活動期間	誘致が決定した時期
約 4 月間	実施日の約 1.5 月前

[沖縄が開催地として選ばれた理由、又は沖縄で開催を検討した理由]

- ・ 沖縄は初めてという参加者が多かったため

[誘致または独自開催する上で工夫した点]

- ・ ホテルインスペクション用に作成したプレゼンを用意
- ・ アメリカ発グローバルな医療機器メーカーである主催社のロゴを入れたケーキを作成(Welcome 感をアピール)
- ・ 客室の広さをアピール。45 m<sup>2</sup> (一番小さな部屋)
- ・ 組織の代表が系列ホテル会員のため、アップグレード対象となる事をアピールした。
- ・ ポイントが欲しくて会社ではなく個人で支払いのお客様もいらしかったため、個別での支払いにも対応した。

[主催者側の MICE 開催後の感想 (評価された点、改善を要望された点)]

(評価された点)

- ・ 帰り際に「Your service is very flexible」(あなた方のサービスはとても柔軟に対応してくれている) とのお言葉頂いた。食事が始まってからの、ベジタリアンメニュー変更にも関わらず対応したこと。また、その料理(沖縄日本料理)がとても好評だった。
- ・ E-mail よりも WeChat (ウィチャット) を使った対応をしていたため、オンデマンド対応、つまり早い回答が可能だった。ノッキングの段階でも私どもの回答がどこよりも早かった。

(改善を要望された点)

- ・ ホテルではなく、沖縄のサービスが不満と言っていた。
- ・ タクシーは限られた時間しか予約出来ない。
- ・ 運転手は絶対に降りて荷物を手伝わない。
- ・ 「他の日本の都市に比べ笑顔がなくサービス精神がない、日本という感覚が非常に薄い」という意見も聞かれた。

↓ホテルインスペクションの際にお出ししたケーキ



(2) 大型インセンティブ案件

[MICE 誘致までの経緯等]

開催した催事名	・ 大手製薬会社インセンティブ旅行
開催日	・ 令和元年7月6日(土) 10:00~13:00
催事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加人数：900名</li> <li>・ 漢那・宜野座と惣慶・松田の4つのエリアに分かれ、集落内を散策しながらの謎解きゲームを行った。</li> <li>・ 協会より、6名のスタッフがオペレーションに回り、その他村内地域の青年会30名に手伝ってもらい、イベントを開催。</li> </ul>
誘致または独自開催の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大手製薬会社は数年に一度、Incentiveで北海道か沖縄に行っており、その開催について旅行社より話をいただいた。</li> <li>・ 当初、旅行社としては運動会のようなイベント開催を検討していた。</li> <li>・ 大手製薬会社としては、単に自分たちが楽しめればいいだけでなく、より地域と深く関わり、地域を知るきっかけになればということで、散策を通した謎解きゲームを行った。</li> </ul>
競合(または検討した)開催地	・ 北海道

[実施に至るまでのスケジュール]

誘致活動期間 実施日より約1年半前	誘致が決定した時期 実施日の約1年前
----------------------	-----------------------

[沖縄が開催地として選ばれた理由、又は沖縄で開催を検討した理由]

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観が良い。沖縄らしい。</li> <li>・ 宜野座村観光協会が親身になって対応したため、宜野座村で開催したいという思いが強くなったという。</li> </ul>
---

[開催する上で工夫した点]

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで取り組んできたことの延長線上であり、特に工夫したということはない。</li> <li>・ 要望が出た際には、これまでの経験に基づいた提案を行った。</li> </ul>
---

[主催者側のMICE開催後の感想(評価された点、改善を要望された点)]

<p>(評価された点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高評価。より一層、沖縄県及び宜野座村が好きになったという声があがった。</li> <li>・ イベント終了後、改めてコースを回る方がいた。プログラム中に寄ることのできなかった「まちやーぐわー」へ足を運び、ぜんざいを食べていたという。</li> <li>・ 旅行社より商品開発をしないかという話が出ている。今後、課題を解決しながら検討していく予定。</li> </ul> <p>(改善を要望された点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催団体からの指摘というものはなかった。</li> <li>・ 宜野座村観光協会としては、今回の経験を活かし、また地域からの意見も踏まえ、次回はより踏み込んだ地域との連携を図ろうと考えている。</li> </ul>
---

### (3) 学術会議

#### [MICE 誘致までの経緯等]

- |                |  |
|----------------|--|
| 開催した催事名        | ・ 国際会議   |
| 催事内容           | ・ これまでに開催した最大規模の会議は国際動物学会の会議で、延べ人数が 750 人であった。その次に規模が大きい会議は 450 人程度。<br>・ 施設の貸し出しだけで 500 名規模の会議もあった。   |
| 誘致または独自開催の背景   | ・ 教授に誘致してもらい OIST で開催してもらった場合と、施設を貸出して外部の団体が会議をする場合がある。<br>・ OIST として教授に国際会議の誘致を推進している。教授だけでなく、研究者にとっても同じ分野の世界トップレベルの研究者やコミュニティとネットワークができるので、メリットがある。研究のフィードバックがもらえ、研究のコラボレーションの可能性、また今後のキャリアにとってもこのネットワークが重要となってくる。<br>・ OIST 自体が主催するものに対しては、サポート体制をとっている。PCO に協力を依頼することもある。<br>・ 誘致は OCVB と協力して行う。キーパーソンを招待して OIST を見てもらうようなツアーも行った。<br>・ OCVB の紹介から実現することが多い。 |
| 競合（または検討した）開催地 | ・ 那覇と競合することが多い。日帰りの人もいるので、那覇を好むことが多い。  |

#### [誘致又は独自開催までのスケジュール]

##### ① 誘致の場合

誘致活動期間  
大規模な国際会議だと 3～4 年前、規模によってかなり変わる。

誘致が決定する時期  
会議によって異なる。会議の時に次の開催地を発表することが多い。隔年の会議だと 2 年前には確定していないといけない。

##### ② 自主開催の場合

構想期間  
1 年半前から企画を始める

#### [沖縄が開催地として選ばれた理由、又は沖縄で開催を検討した理由]

- ・ 施設がいい、大学が新しいのでユニーク感がある。
- ・ インターナショナル感
- ・ 主催者のロコミ

#### [主催者側の MICE 開催後の感想（評価された点、改善を要望された点）]

##### （評価された点）

- ・ 施設がいい、眺めがいい

##### （改善を要望された点）

- ・ アクセスを改善してほしいとの意見が多い。車社会であるため、観光客として来るととても不便。エアポートシャトルができて、多少は改善されている。
- ・ 参加者が自力で食事を確保することが難しい。ケータリングを必ずしないとけない。



### 沖縄県MICE開催実態調査票（開催実績・予定）

2019 年分

（調査対象期間：2019年1月1日～2019年12月31日）

成長著しいアジア地域や国内のMICE開催需要を沖縄に取り込み、本県のさらなるMICE振興を図るため、調査へのご協力何卒よろしくお願いたします。

企業/ 団体名	ご担当者 名	部署/ 役職	TEL	FAX	E-mail
------------	-----------	-----------	-----	-----	--------

#### 【MICEビジネスへの取組現況調査に関するアンケート】

Q1：2019年1月1日～2019年12月31日の期間において、MICEを受け入れましたか、または受け入れる予定はありますか？

- 1. あり
- 2. なし

※「あり」とご回答の場合：Q2、3へお進みください。  
 ※「なし」とご回答の場合：Q4 についてご回答ください。

Q2：MICE関連の部署・ご担当者はいらっしゃいますか？

- 1. いる
- 2. いない

※「いる」とご回答の場合：「部署名」 \_\_\_\_\_ 「ご役職名」 \_\_\_\_\_ 「ご担当人数」 \_\_\_\_\_ 名

Q3：2019年1月1日～2019年12月31日において、受け入れたMICEのうち、受入経緯について最も当てはまる内容についてご回答ください。（1つ選択）

- 1. 主催者・代理店等側から施設に直接問い合わせがあった。
- 2. 沖縄県、OCVB、沖縄MICEネットワーク等からの紹介があった。
- 3. 独自でMICEの誘致をおこなった。
- 4. その他（ \_\_\_\_\_ ）

Q4：2019年1月1日～2019年12月31日の期間における、MICEビジネスに関する取組状況についてご回答ください。

- 1. MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ。（Q5の（1）へ）
- 2. 昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況（Q5の（2）へ）

Q5：2019年1月1日～2019年12月31日の期間における、MICEビジネスに関する取組み状況についてご回答ください。

- (1) Q4で「1：MICEビジネスの拡大に向けて取り組んだ」と回答した内容の具体的な内容・理由（複数回答可）
- 1. MICEビジネスの拡大または開発（商品・サービス）
  - 2. 主催者やMICE運営事業者等との連携強化
  - 3. MICE受入キャパシティ（施設）の拡大
  - 4. 営業先（国内、海外）の拡大
  - 5. MICE関連商品・サービスのブランド力強化
  - 6. 広告・宣伝費の拡大
  - 7. MICEの専門人材の積極的な採用・育成
  - 8. その他（ \_\_\_\_\_ ）
- (2) Q4で「2. 昨年度の取組みと変わらず、現状維持の状況」と回答した内容の具体的な内容・理由（複数回答可）
- 1. 一般観光・団体旅行の需要確保が優先のため
  - 2. 設備投資の拡大の見通しが立たないため
  - 3. MICEの専門人材に限られているため
  - 4. 既に稼働率が高いため
  - 5. 取組予算に限られているため
  - 6. その他（ \_\_\_\_\_ ）

※本調査票は沖縄県のHPよりダウンロードが可能です。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/h30mice-chousa.html> →更新予定

※県外または海外から10名以上の参加者がいる催事をMICEとする。

※MICEのカテゴリー別の詳細については、ガイドラインをご参照ください。

返信・問合せ先：ランドブレイン株式会社 沖縄事務所  
 電話：098-943-8743 FAX：098-943-8746  
 FAX送信枚数 合計 枚  
 又は E-mail okinawa\_mice@landbrains.co.jp

回答欄
Q1の回答

Q2の回答
-------

Q3の回答
-------

Q4の回答
-------

Q5の回答

2. 1. 2. MICE事例ヒアリング調査票

## ヒアリング調査票

平成31年 月 日

1. 質問事項（案）

- ・ MICE 誘致又は独自開催までの経緯等

開催した催事名	
開催日	
催事内容	
誘致または独自開催の背景	
競合（または検討した）開催地	

- ・ 誘致又は独自開催までのスケジュール

① 誘致の場合

誘致活動期間 約（        ）月間	誘致が決定した時期 実施日の約（        ）月前
-------------------------	--------------------------------

② 自主開催の場合

構想期間 約（        ）月間	開催が確定した時期 実施の約（        ）月前
-----------------------	-------------------------------

- ・ 沖縄が開催地として選ばれた理由、又は沖縄で開催を検討した理由

- ・ 誘致または独自開催する上で工夫した点

- ・ 主催者側の MICE 開催後の感想（評価された点、改善を要望された点）

（評価された点）

（改善を要望された点）



## 2. 2. ガイドライン

# 「沖縄県 MICE 開催実態調査 (2019 年分)」ガイドライン

### 「MICE」の定義

「MICE」とは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・招待・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議 (Convention)、展示会・見本市 (Exhibition)、イベント等 (Event) に該当する催事のことを指します。

### 調査対象となる「MICE」

本調査業務の対象となる「MICE」催事は、下記催事区分の定義に該当する催事のうち、沖縄県外または日本国外からの参加者数が合計 10 名以上の催事とします。

### 催事区分 (M・I・C・E) について

本調査業務における「MICE」の催事区分は、以下の通りとします。

#### M (Meeting/企業・団体会議)

##### 企業・団体等 (公共機関・学術団体等を除く) が主催する会議、研修、セミナー等

企業・団体会議は、企業・団体等 (公共機関・学術団体等を除く) が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」、「研修」、「式典」、「セミナー」等を指すものとし、具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 沖縄県外または日本国外拠点の社員を含む社内会議、顧客 (沖縄県外・日本国外を含む) との会議・商談、サプライヤーとの会議等
- (2) 複数の顧客を対象とした新商品セミナー・業界セミナー・ビジネスカンファレンス等
- (3) 自社社員・販売員・販売代理店やサプライヤー企業等を対象とした教育や情報発信目的の研修・セミナー等
- (4) 自社社員・顧客・販売代理店・サプライヤー等を対象とした周年パーティーや記念式典等

※ ただし、上記(1)～(4)に相当する場合であっても、I (Incentive Travel/インセンティブ旅行) の定義にも該当する催事は除くものとします。

[催事区分 M (Meeting) の例]

「〇〇株式会社 全国責任者会議」、「〇〇産業連合会 九州沖縄ブロック支部会議」、「〇〇会経営者総会」、「新人経営者向けの〇〇セミナー」、「グループミーティング」等

#### I (Incentive Travel/インセンティブ旅行)

##### 企業等が主催する報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等

インセンティブ旅行は、沖縄県外または日本国外を出発地とする団体旅行型催事のうち、「ビジネスの促進」、「アイデアの共有」、「参加対象者の過去の実績に対する報奨の提供」を目

的とするものを指します。具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 自社社員・販売員・販売代理店等を対象とした報奨・研修目的の旅行
- (2) 社員・販売員全員や部署全員を対象としたものではなく、業績に応じて一定の条件をクリアした社員を選抜して開催する催事
- (3) 催事の中に、経営方針・新商品等についての会議や研修等の要素が入るものもあるが、主目的が「参加社員のモチベーション向上」、「好業績に対する報奨」である催事

※ したがって、上記の要件に該当しない教育旅行、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアー等は除きます。

#### ■インセンティブ旅行主催企業の業種選択について■

インセンティブ旅行主催企業の業種については、表1から一番近いと思われるものを選択してください。

[催事区分I (Incentive Travel)の例]

「〇〇株式会社 全社研修旅行」、「〇〇販売店グループ 成績優秀者表彰旅行」、「〇〇代理店会 沖縄特別セミナーツアー」等

### C (Convention, Conference/学会・大会)

**協会・学会・国内（国際）機関・団体等が主催する国際会議、学術会議、学会、研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等**

学会・大会は、公共機関等が主催する公益性の高いテーマを討議する国内・国際会議、大会等、または学術団体等が主催する学術的、技術的な議論・研究発表を目的とした学術会議、研究会・報告会等を指します。具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 官公庁等（地方自治体等を含む）が主催する政府間協議、全国会議、エリア会議等
- (2) 国際・国内の公共機関・団体等が主催する加盟国・団体の全体会議、調整会議等
- (3) 学術団体、研究機関等が主催する学術集会や研究発表会、ワークショップ、シンポジウム等
- (4) 業界団体等が主催する年次総会やテーマごとの発表会等。ただし、M (Meeting/企業・団体会議) に該当するものを除く。

#### ■開催された学会・大会等の分野選択について■

学会・大会の分野については、表2から一番近いと思われるものを選択してください。

[催事区分C (Convention, Conference)の例]

「日本〇〇学会 学術集会」、「〇〇協会 第00回総会」、「〇〇に関する国際会議」等

### E (Exhibition, Event/展示会・見本市、イベント)

**展示会、見本市、商談会、イベント**

展示会・見本市・商談会とは、国や地域を越えた「モノ」「サービス」「情報」の売買や商談を目的として開催する、商品やサービス等の展示・宣伝・デモンストレーションを行う催事をいいます。また、本調査におけるイベントとは、商品やサービスの販売促進、プロモーションの手段として開催する催事をいいます。

※ ただし、Ex (Exhibition) の催事区分に相当する展示会等であっても、「フリーマーケット」、「路上販売会」、「美術・博物展」等については本調査の対象外とします。また、Ev (Event) の催事区分に相当するイベント等であっても、「入学式・入社式」、「卒業式・修

了式」、「各種試験（採用試験、資格試験）」「スポーツイベント」等については本調査の対象外とします。

[催事区分E (Exhibition, Event)の例]

「国際〇〇見本市」、「〇〇業界商談会」、「〇〇物産展」、「〇〇ミュージックフェスタ」、「〇〇映画祭」、「合同企業就職説明会」「〇〇ライブ」等

【表1】 I (Incentive Travel) 主催企業産業分類一覧 (日本標準産業分類に基づく)

- (A) 農業、林業
- (B) 漁業
- (C) 鉱業、採石業、砂利採取業
- (D) 建設業
- (E) 製造業
- (F) 電気・ガス・熱供給・水道業
- (G) 情報通信業
- (H) 運輸業、郵便業
- (I) 卸売業、小売業
- (J) 金融業、保険業
- (K) 不動産業、物品賃貸業
- (L) 学術研究、専門・技術サービス業
- (M) 宿泊業、飲食サービス業
- (N) 生活関連サービス業、娯楽業
- (O) 教育、学習支援業
- (P) 医療、福祉
- (Q) 複合サービス事業
- (R) サービス業（他に分類されないもの）
- (S) 公務（他に分類されるものを除く）

【表2】 C (Convention、Conference) 会議分野一覧 (JNTO 国際会議統計に基づく)

- (1) 政治、経済、法律
- (2) 科学、技術、自然
- (3) 医学
- (4) 産業
- (5) 芸術、文化、教育
- (6) 社会
- (7) 運輸、観光
- (8) 社交、親善
- (9) 宗教
- (10) スポーツ（講演会やセミナーの開催または併催の場合のみ）
- (11) その他

## 沖縄県 MICE 開催実態調査 ご回答用ガイドライン

沖縄県で開催される『県外・海外から 10 名以上の参加者がいる催事』について、以下を基準にご回答ください。

※裏面もご覧ください。

催事種別	内容	主催	備考
Meeting (企業・団体会議)	会議、研修、セミナー  例) 「〇〇株式会社 全国責任者会議」、「〇〇産業連合会 九州ブロック会議」、「新人経営者向けの〇〇セミナー」等	企業、団体等 (公共・学術団体等を除く)	I(インセンティブ旅行)の定義にも該当する 場合は I に分類する
Incentive Travel (インセンティブ旅行)	報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等	企業等	教育旅行、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアーは対象外
Convention / Conference (学会・大会)	国際会議、学術会議、学会、研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等  例) 「日本〇〇学会 学術集会」、「〇〇協会 第 00 回総会」、「〇〇に関する国際会議」等	団体、協会、学会、国際機関等 (公共・学術系)	M (Meeting/ 企業・団体会議) に該当するものを除く
Exhibition / Event (展示会・見本市、イベント)	展示会、見本市、商談会、イベント  例) 「国際〇〇見本市」、「〇〇業界商談会」、「〇〇物産展」、「〇〇ミュージックフェスタ」、「〇〇映画祭」、「〇〇ライブ」等	団体、協同組合、企業、行政機関、実行委員会等	フリーマーケット、美術・博物展、入学・卒業式、各種試験、スポーツイベントは対象外

※おもて面もご覧ください。

調査の目的	成長著しいアジア地域や国内の MICE 開催需要を沖縄に取り込み、本県のさらなる MICE 振興を図るため、調査を実施します。
調査票ダウンロード	本調査票は、沖縄県ウェブサイト(下記 URL)よりダウンロードすることが可能です。 [沖縄県 MICE 開催実態調査 URL] <a href="http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/h30mice-chousa.html">http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/h30mice-chousa.html</a>
調査対象となる催事	おもて面記載の「M/I/C/E」に該当する催事のうち、 <u>県外または海外から 10 名以上の参加者がいる催事</u> を調査対象とします。
催事名称	分からない場合は、表 2 会議分野より選択ください。
主催者	分からない場合は、表 1 産業分野より選択ください。
主催者の所在地	都道府県の記載が難しい場合は、エリアを記載。(例：関東エリア、関西エリア等) わからない場合は、「不明」と記入下さい。
参加者	参加者は、出身地問わず <u>参加時の在住場所</u> により振り分けます。(例：県内在住は県内、県外在住は県外、海外在住(邦人を含む)は海外。)
参加国	<u>参加国数には日本を含まないでください。</u> 例) 日中韓会議の場合、参加国数は 2 か国
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主催者や催事名は可能な限りご記入ください。<u>ご回答いただいた個別の催事名・団体情報は一切、公表いたしません。</u></li> <li>● 記入スペースが足りない場合は、本調査票の様式をシートごとコピーしてご利用ください。</li> <li>● FAX にてご提出される際は、お手数ですが全ての様式に、企業/団体名、アンケート回答者名をご記入ください。</li> </ul>